

都道府県別データ集

(特定健診・後発医薬品編)

本データ集は、健保組合加入者40-74歳を対象とした特定健康診査による問診回答や健診検査値等のデータから都道府県別の生活習慣や健康状態、服薬の状況のほか、都道府県別の後発医薬品の使用状況についてとりまとめたものです。

都道府県単位の集計方法は、加入者の居住地ではなく、加入者が受診した各機関所在地（①健診機関所在地、②調剤薬局所在地）に基づき集計を行なっています。

平成30年1月

IT推進部データ分析推進グループ

目次

【1】生活習慣（問診回答による）

- ①喫煙、②20歳から10kg、③1回30分以上の運動、④歩行又は身体活動、
⑤就寝前の食事、⑥間食・夜食、⑦朝食、⑧飲酒〈毎日〉、⑨1日当たりの飲酒量〈3合以上〉

【2】健康状態（健診検査値による）

1) メタボリックシンドロームの状況

- ①該当者割合、②予備群割合

2) 健診検査値リスク保有者（保健指導基準値以上の者）の割合

- ①肥満、②血圧、③脂質、④血糖、⑤肝機能

【3】医療受診（服薬）状況（問診回答による）

○服薬の状況

- ①血圧、②血糖、③脂質

【4】後発医薬品の使用状況

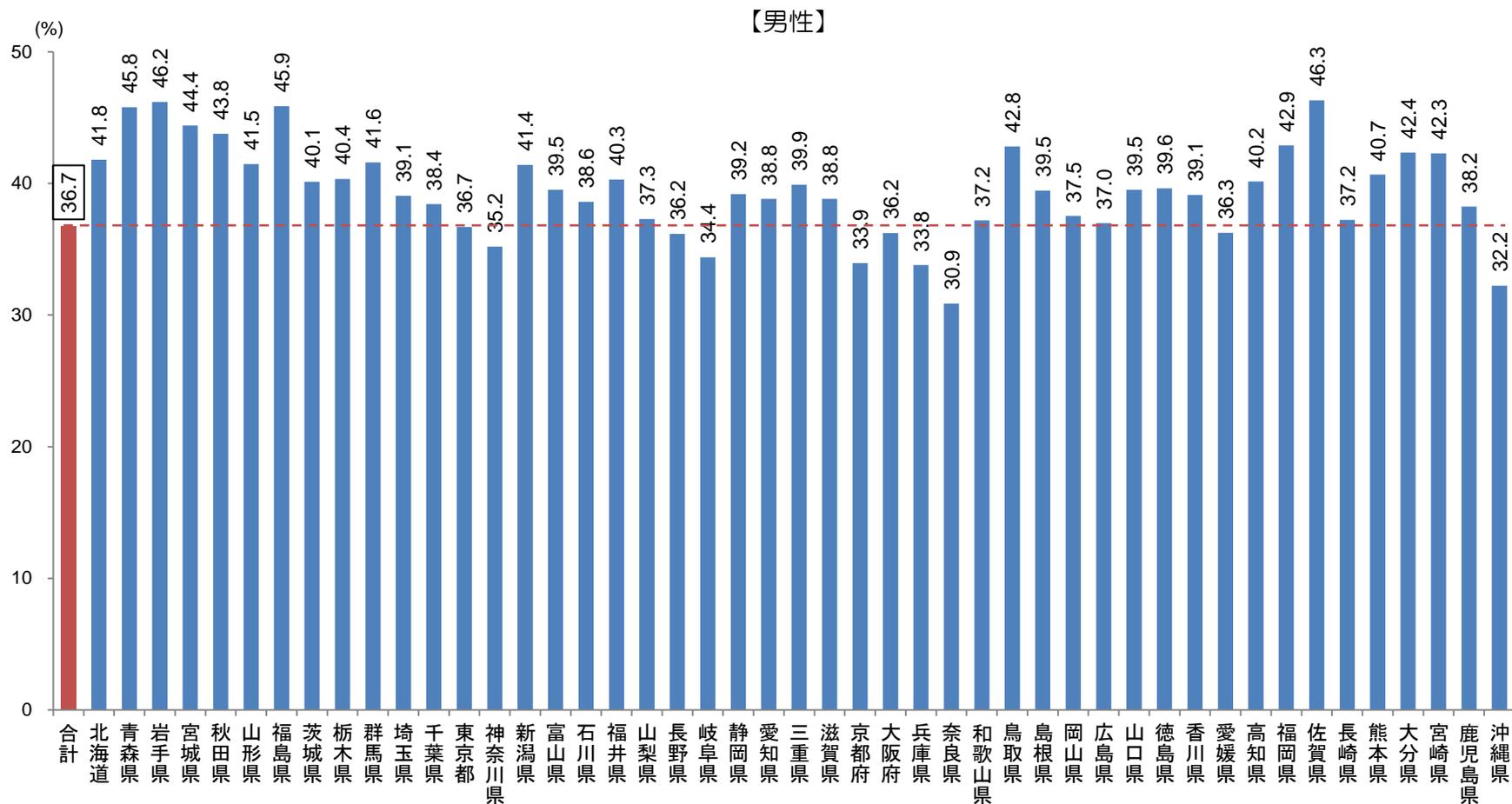
○後発医薬品使用割合（数量ベース）

【1】生活習慣（問診回答による）

- ①喫煙、②20歳から10kg、③1回30分以上の運動、
- ④歩行又は身体活動、⑤就寝前の食事、⑥間食・夜食、
- ⑦朝食、⑧飲酒<毎日>、⑨1日当たりの飲酒量<3合以上>

平成27年度 現在、たばこを習慣的に吸っている者の割合【男性】

「現在、たばこを習慣的に吸っている」者の割合をみると、合計：36.7%に対して、高い割合を示しているのは、①佐賀県：46.3%、②岩手県：46.2%、③福島県：45.9%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①奈良県：30.9%、②沖縄県：32.2%、③兵庫県：33.8%となっている。



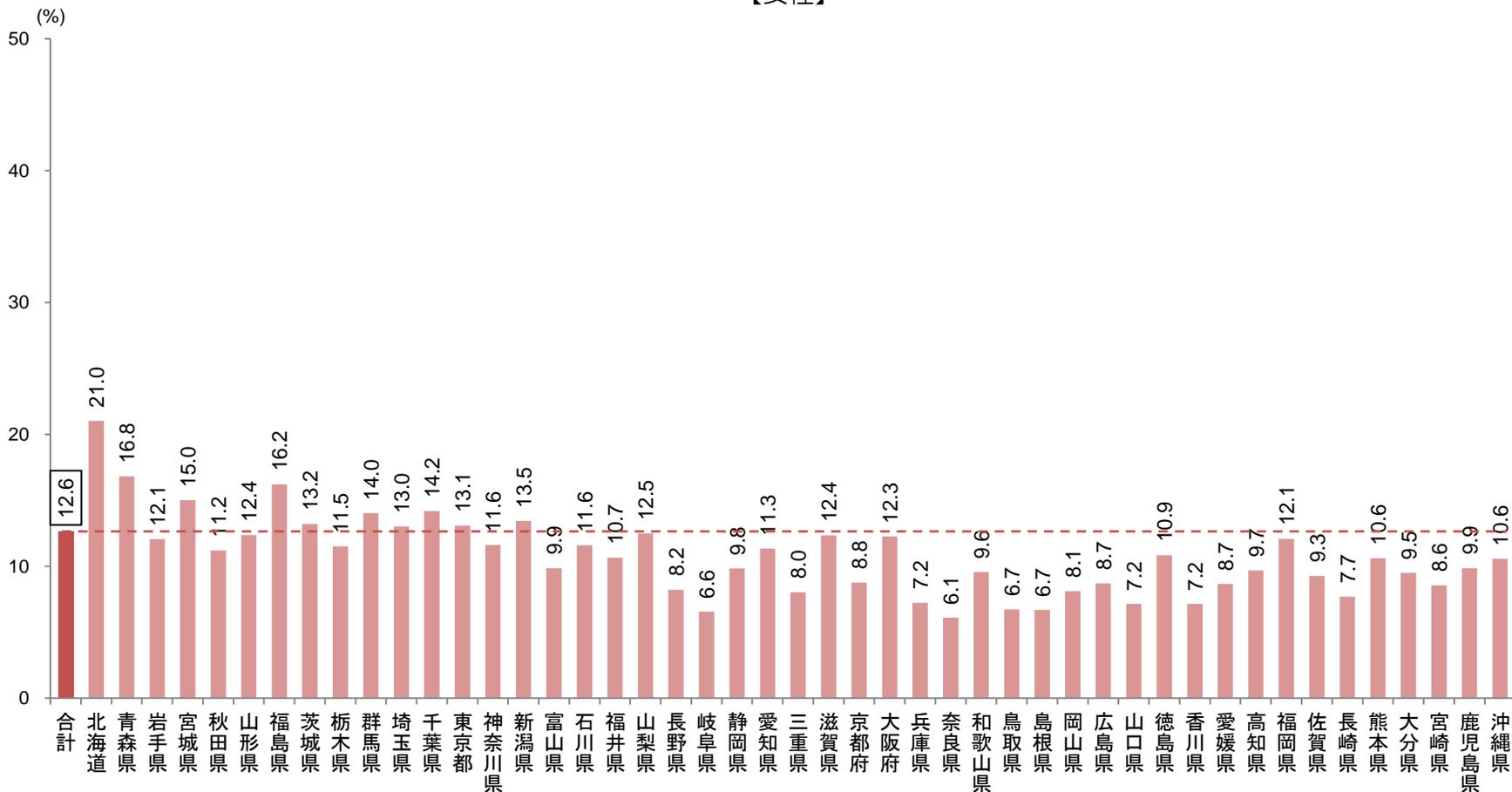
※対象464組合（問診回答者数：207万934人、うち該当者数：76万883人）

注「合計」には都道府県コード（1～47）を付さない、健診・保健指導を医療保険者自身で実施した場合の付番：55及び他の健診・保健指導（他の法令や償還払い）の実施機関による場合の付番：66等を含む（参照：厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」p.89）（以下、同様）。

平成27年度 現在、たばこを習慣的に吸っている者の割合【女性】

「現在、たばこを習慣的に吸っている」者の割合をみると、合計：12.6%に対して、高い割合を示しているのは、①北海道：21.0%、②青森県：16.8%、③福島県：16.2%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①奈良県：6.1%、②岐阜県：6.6%、③鳥取県、島根県：6.7%となっている。

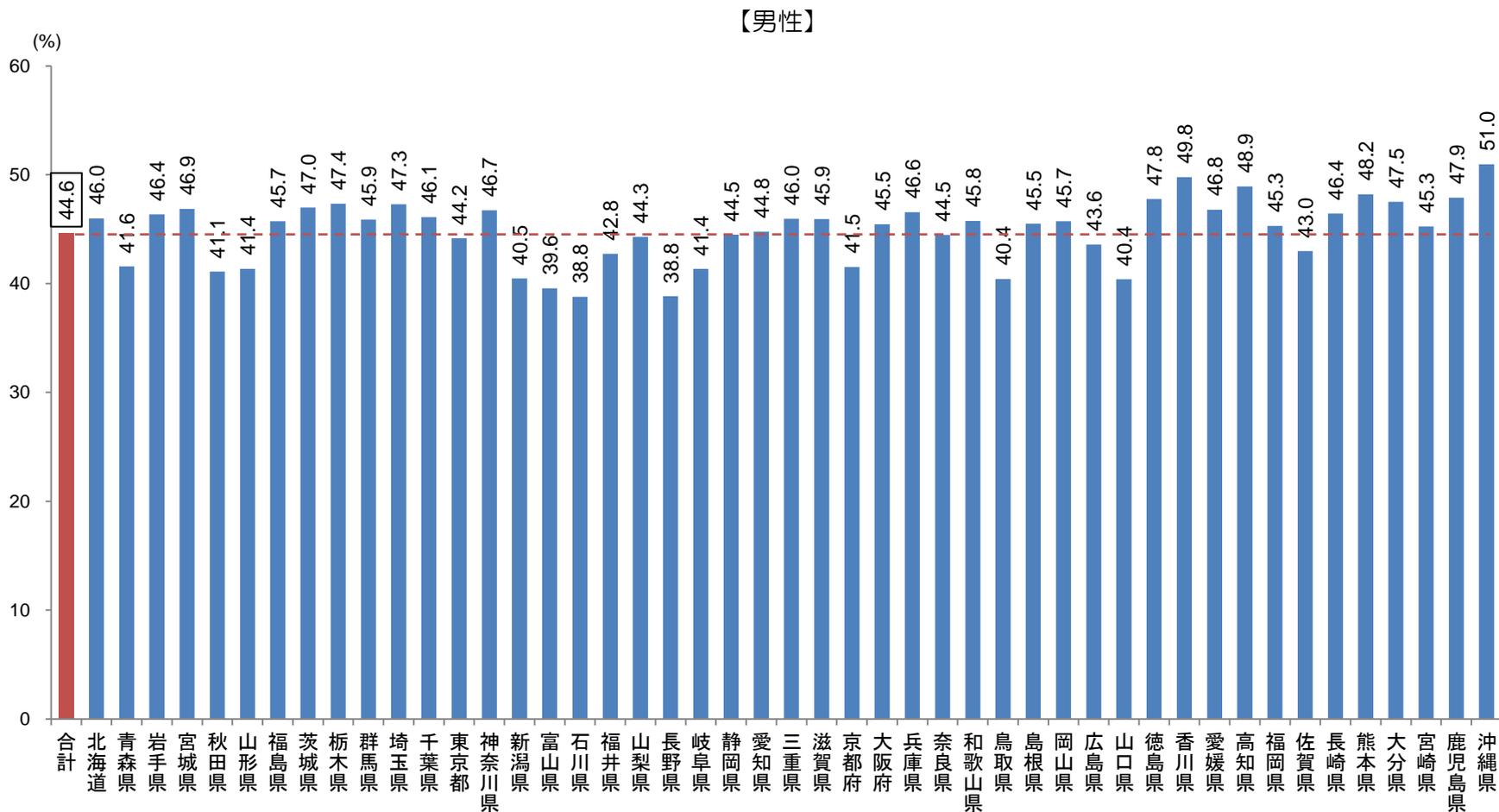
【女性】



※対象464組合（問診回答者数：132万177人、うち該当者数：16万6,677人）

平成27年度 20歳の時の体重から10kg以上増加している者の割合【男性】

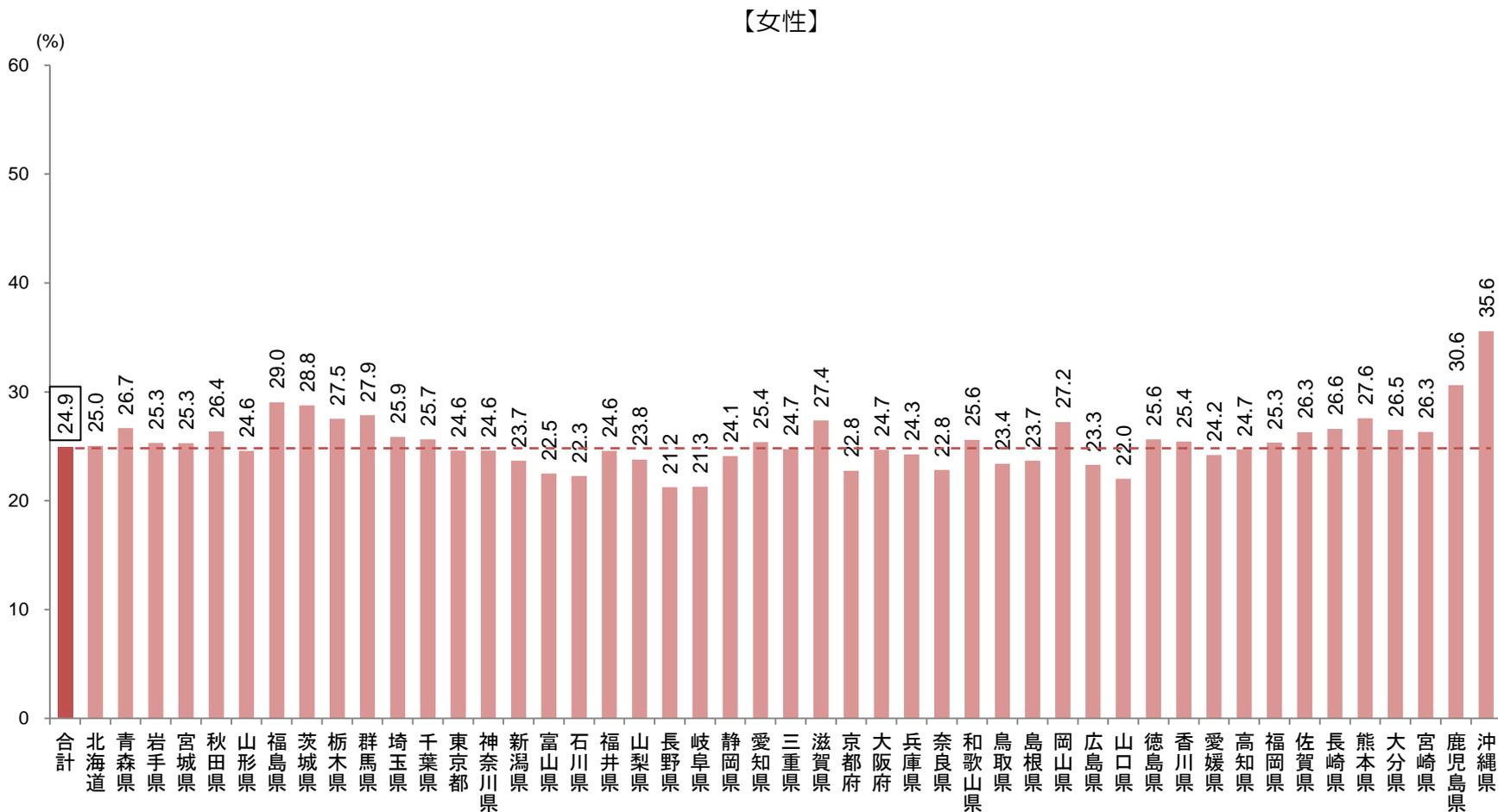
「20歳の時の体重から10kg以上増加している」者の割合をみると、合計：44.6%に対して、高い割合を示しているのは、①沖縄県：51.0%、②香川県：49.8%、③高知県：48.9%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①石川県、長野県：38.8%、②富山県：39.6%、③鳥取県、山口県：40.4%となっている。



※対象464組合（問診回答者数：179万9,876人、うち該当者数：80万2,870人）

平成27年度 20歳の時の体重から10kg以上増加している者の割合【女性】

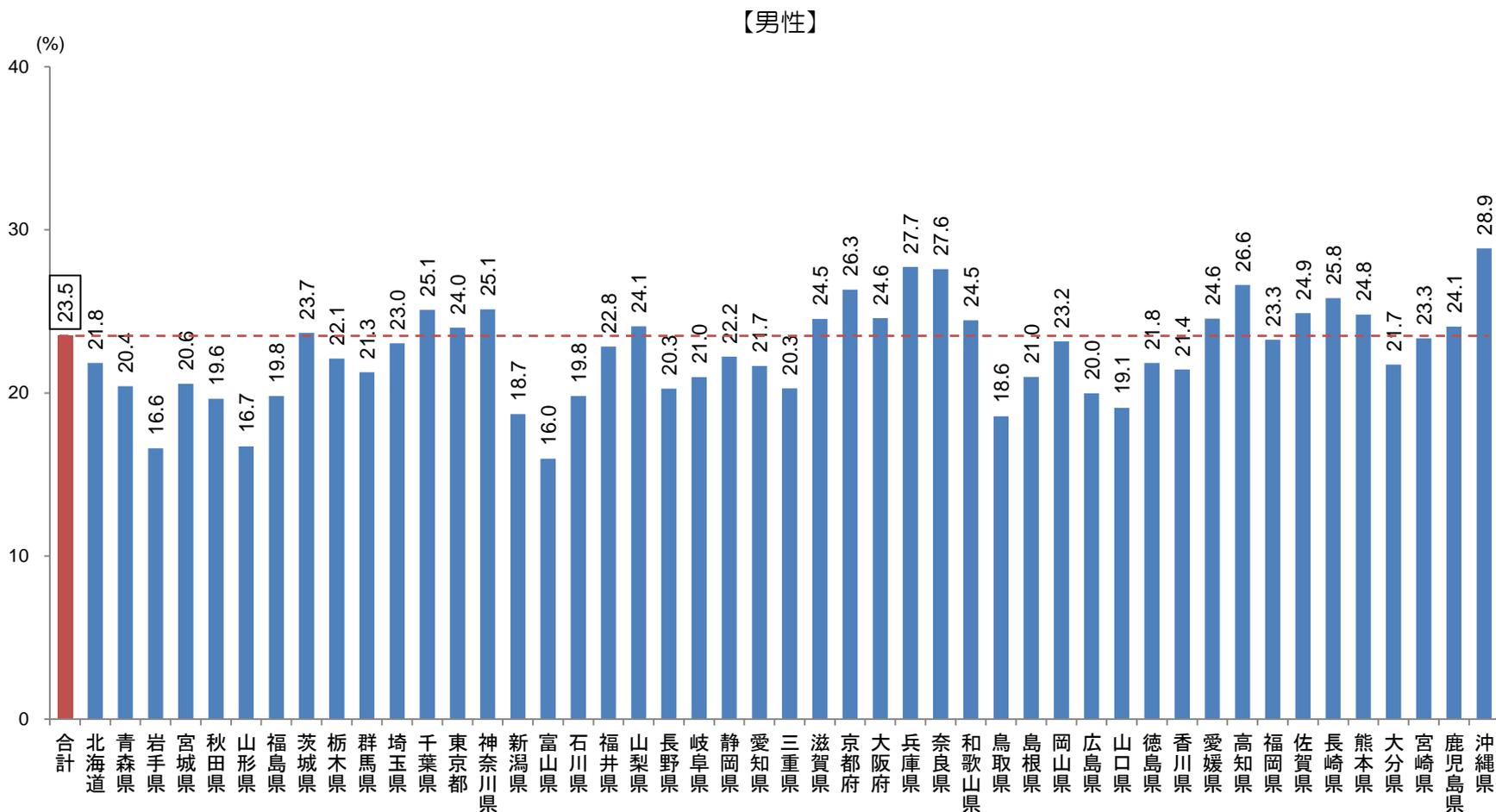
「20歳の時の体重から10kg以上増加している」者の割合をみると、合計：24.9%に対して、高い割合を示しているのは、①沖縄県：35.6%、②鹿児島県：30.6%、③福島県：29.0%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①長野県：21.2%、②岐阜県：21.3%、③山口県：22.0%となっている。



※対象464組合（問診回答者数：116万7,165人、うち該当者数：29万963人）

平成27年度 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している者の割合【男性】

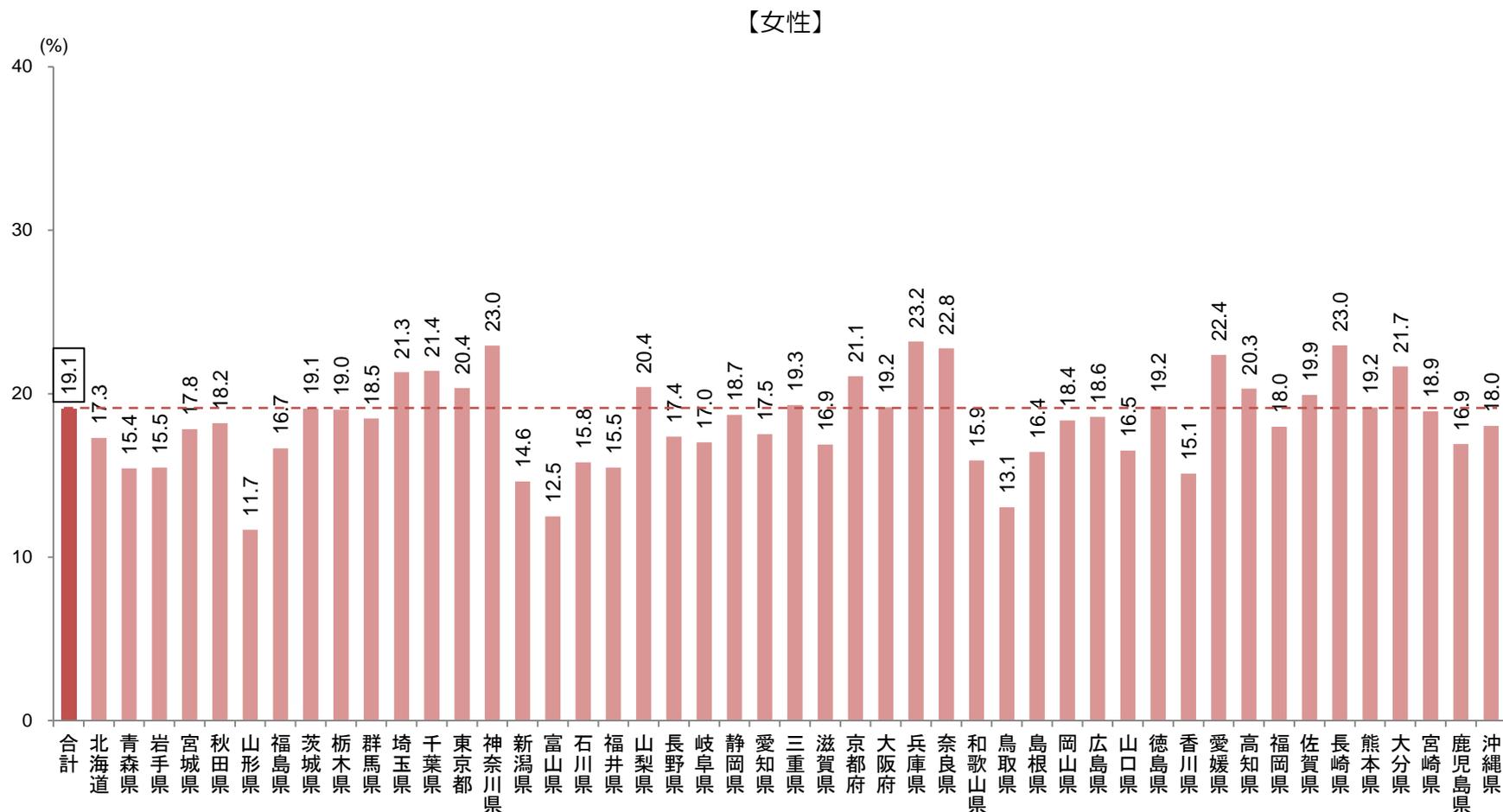
「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している者」の割合をみると、合計：23.5%に対して、高い割合を示しているのは、①沖縄県：28.9%、②兵庫県：27.7%、③奈良県：27.6%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①富山県：16.0%、②岩手県：16.6%、③山形県：16.7%となっている。



※対象464組合（問診回答者数：176万8,342人、うち該当者数：41万5,538人）

平成27年度 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している者の割合【女性】

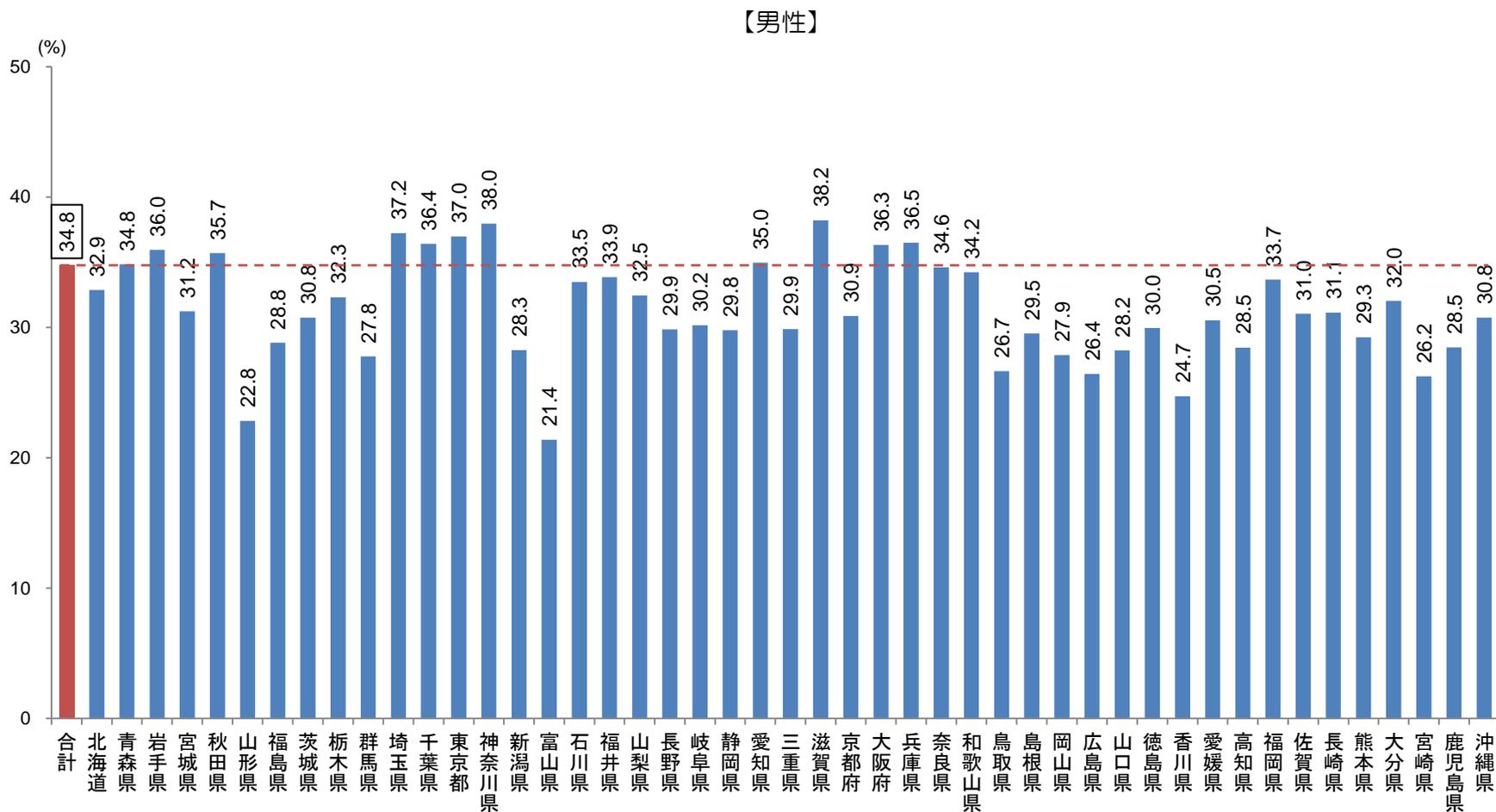
「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している者」の割合をみると、合計：19.1%に対して、高い割合を示しているのは、①兵庫県：23.2%、②神奈川県、長崎県：23.0%、③奈良県：22.8%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①山形県：11.7%、②富山県：12.5%、③鳥取県：13.1%となっている。



※対象464組合（問診回答者数：115万6,201人、うち該当者数：22万510人）

平成27年度 日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している者の割合【男性】

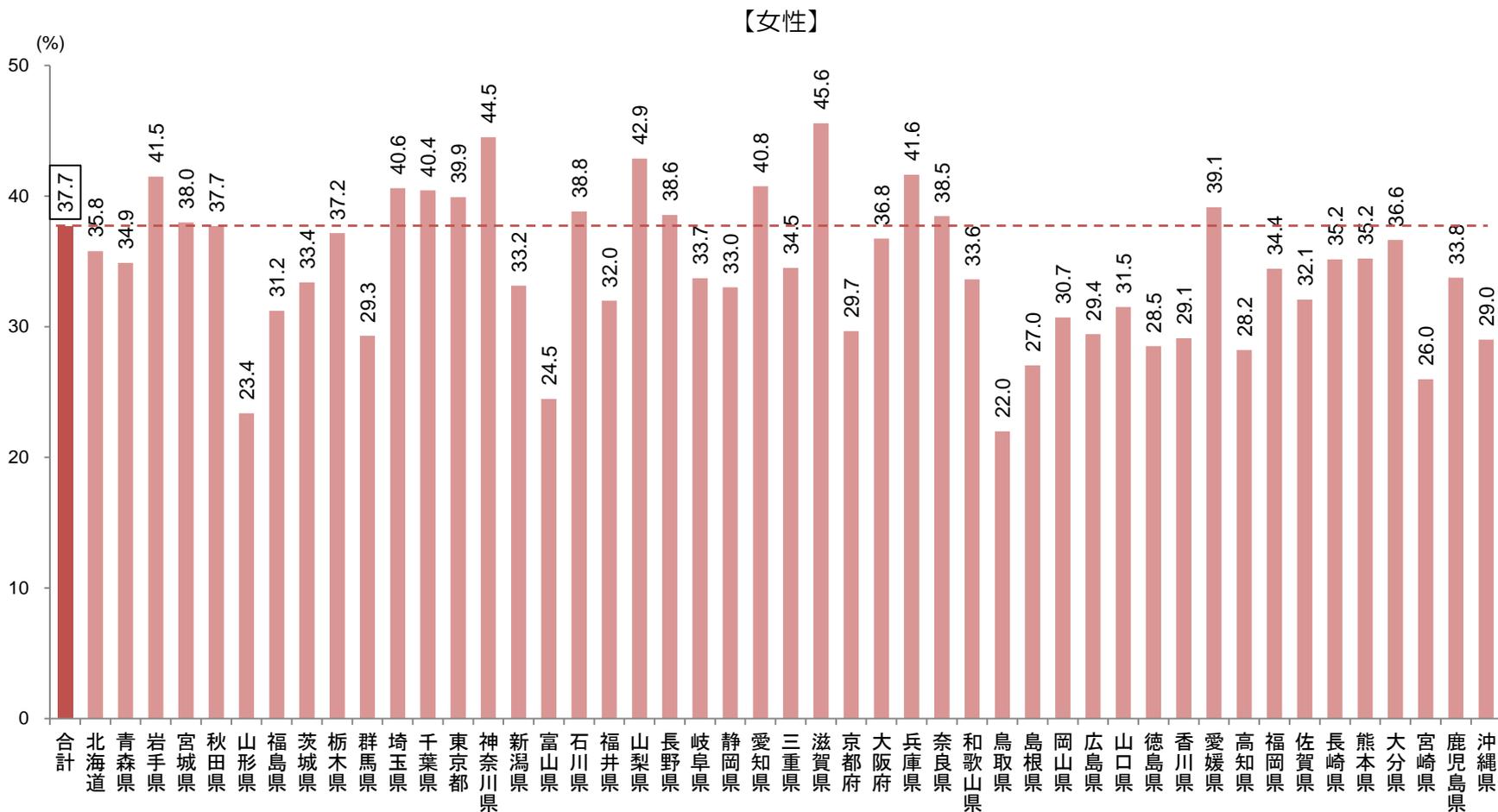
「日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している」者の割合をみると、合計：34.8%に対して、高い割合を示しているのは、①滋賀県：38.2%、②神奈川県：38.0%、③埼玉県：37.2%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①富山県：21.4%、②山形県：22.8%、③香川県：24.7%となっている。



※対象464組合（問診回答者数：176万291人、うち該当者数：61万2,155人）

平成27年度 日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している者の割合【女性】

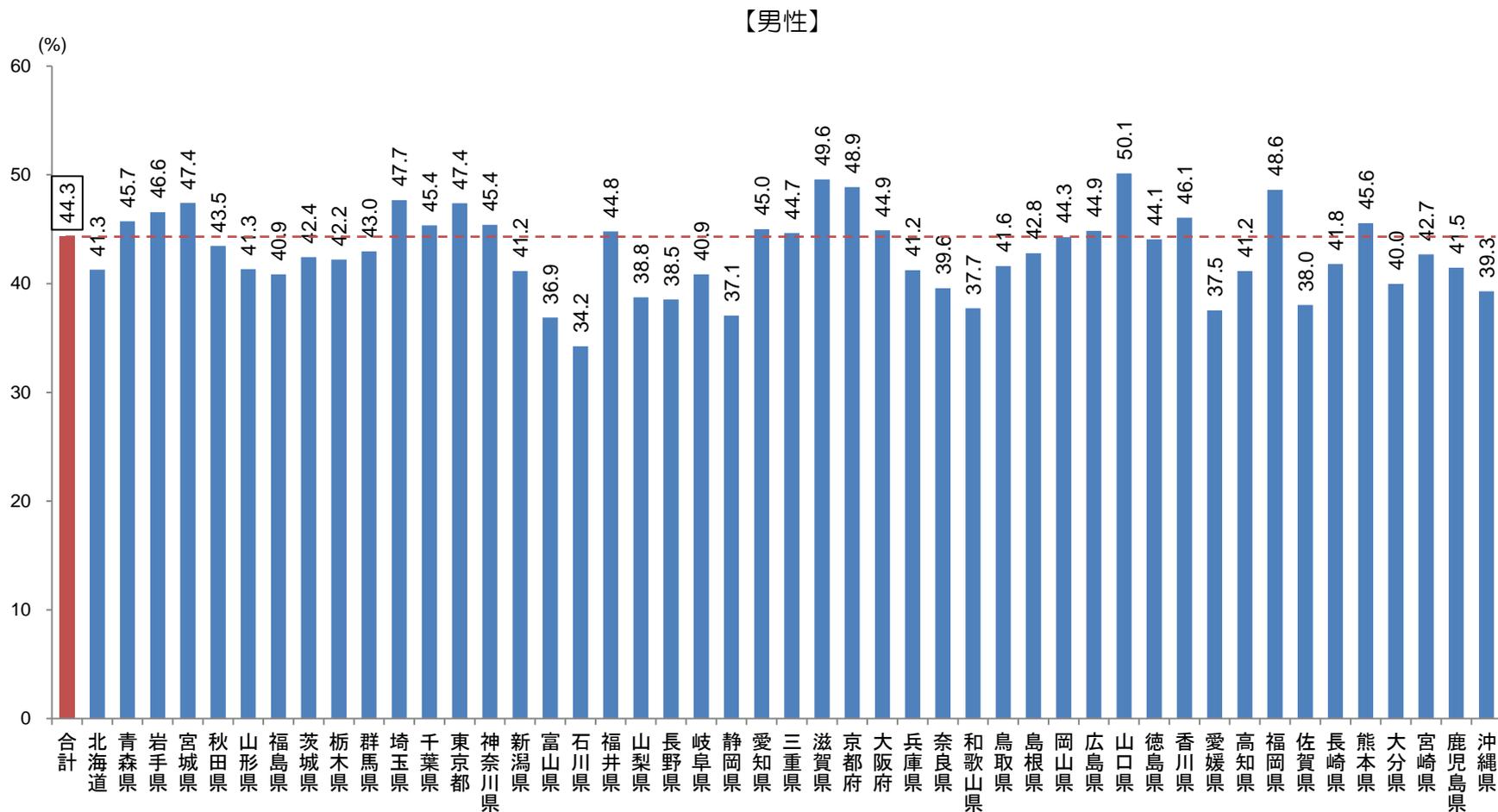
「日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している」者の割合をみると、合計：37.7%に対して、高い割合を示しているのは、①滋賀県：45.6%、②神奈川県：44.5%、③山梨県：42.9%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①鳥取県：22.0%、②山形県：23.4%、③富山県：24.5%となっている。



※対象464組合（問診回答者数：115万5,815人、うち該当者数：43万5,914人）

平成27年度 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある者の割合【男性】

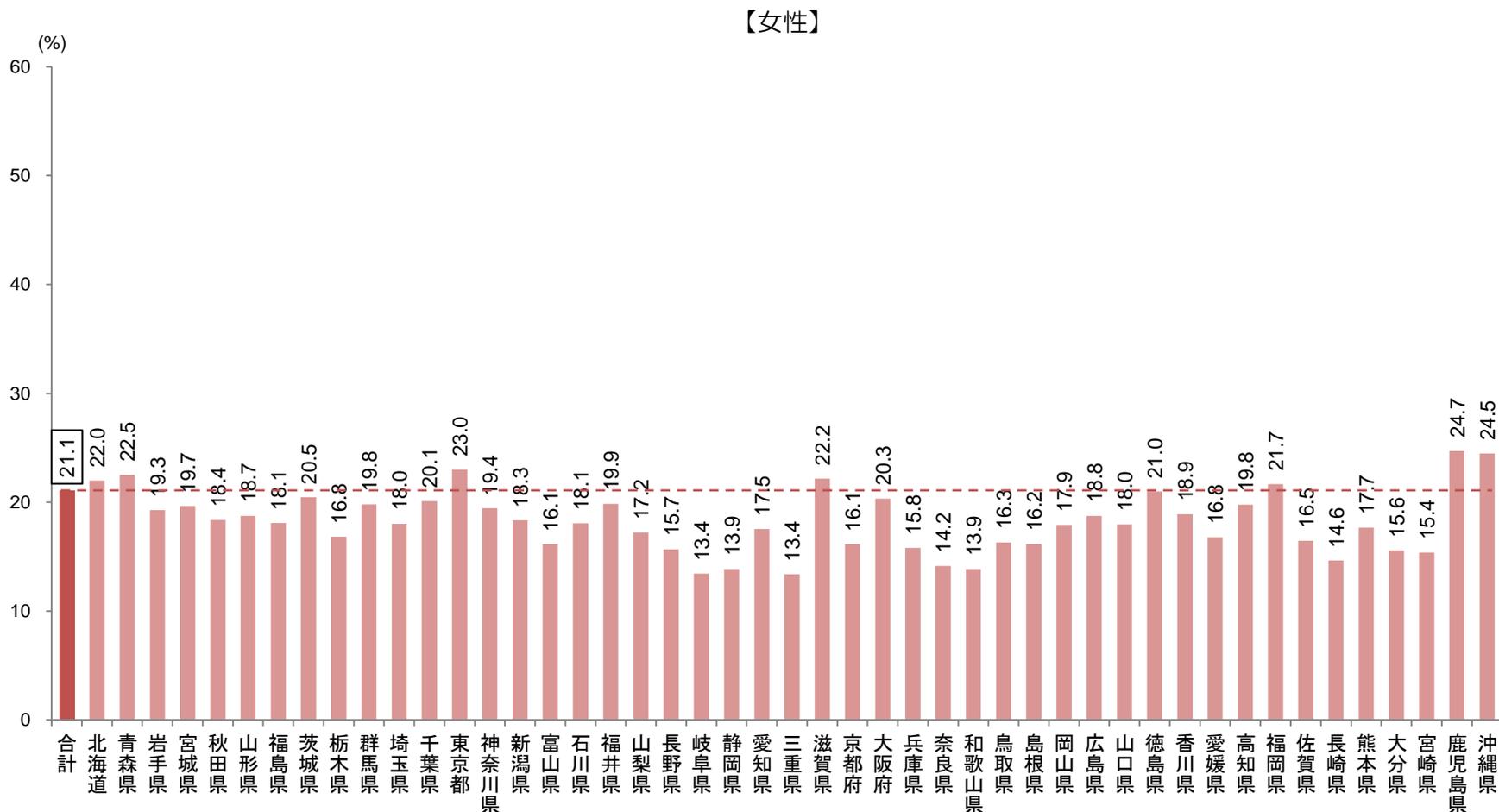
「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある」者の割合をみると、合計：44.3%に対して、高い割合を示しているのは、①山口県：50.1%、②滋賀県：49.6%、③京都府：48.9%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①石川県：34.2%、②富山県：36.9%、③静岡県：37.1%となっている。



※対象464組合（問診回答者数：177万5,618人、うち該当者数：78万6,886人）

平成27年度 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある者の割合【女性】

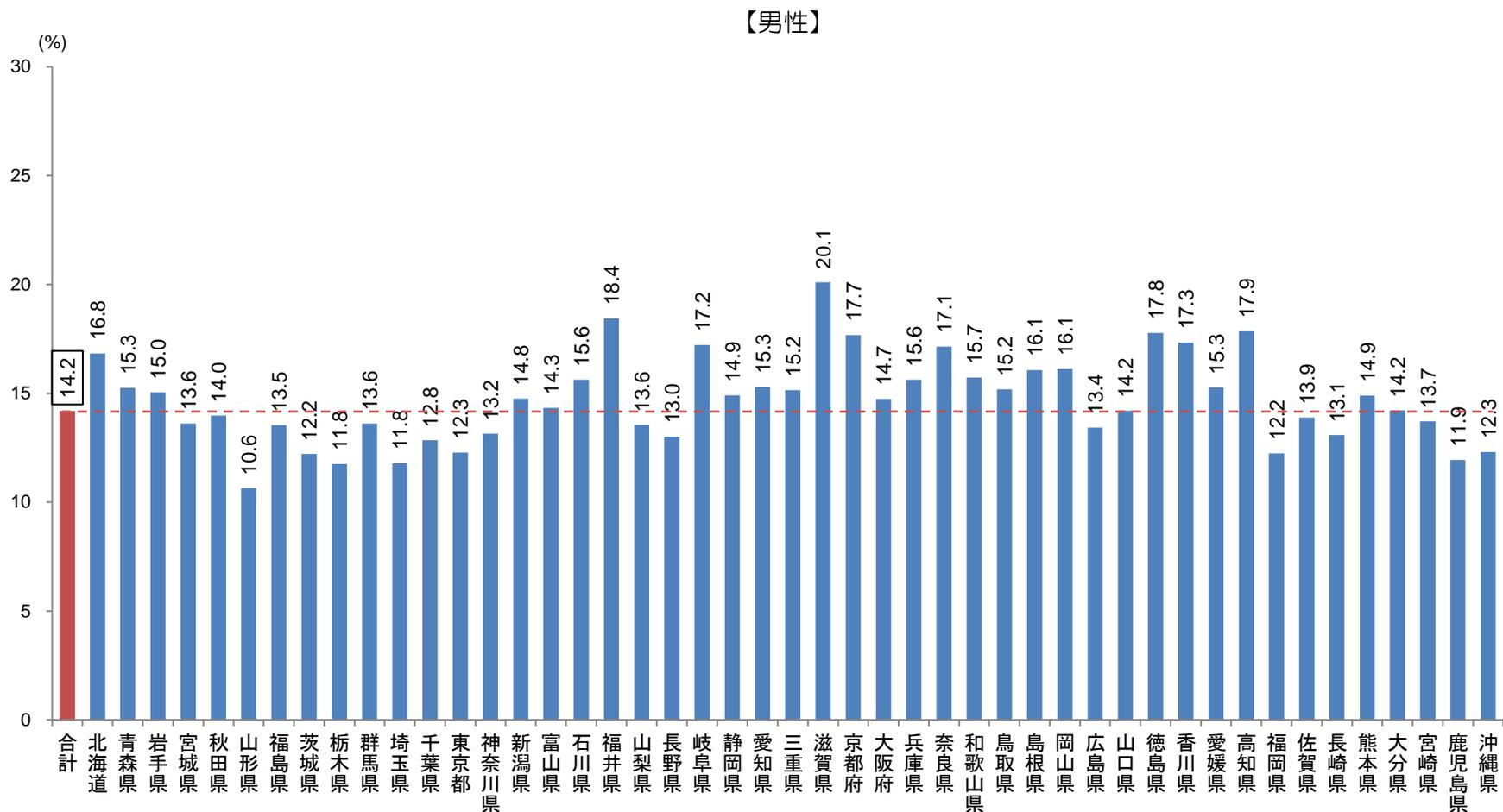
「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある」者の割合をみると、合計：21.1%に対して、高い割合を示しているのは、①鹿児島県：24.7%、②沖縄県：24.5%、③東京都：23.0%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①岐阜県、三重県：13.4%、②静岡県、和歌山県：13.9%、③奈良県：14.2%となっている。



※対象464組合（問診回答者数：115万8,384人、うち該当者数：24万4,140人）

平成27年度 夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上ある者の割合【男性】

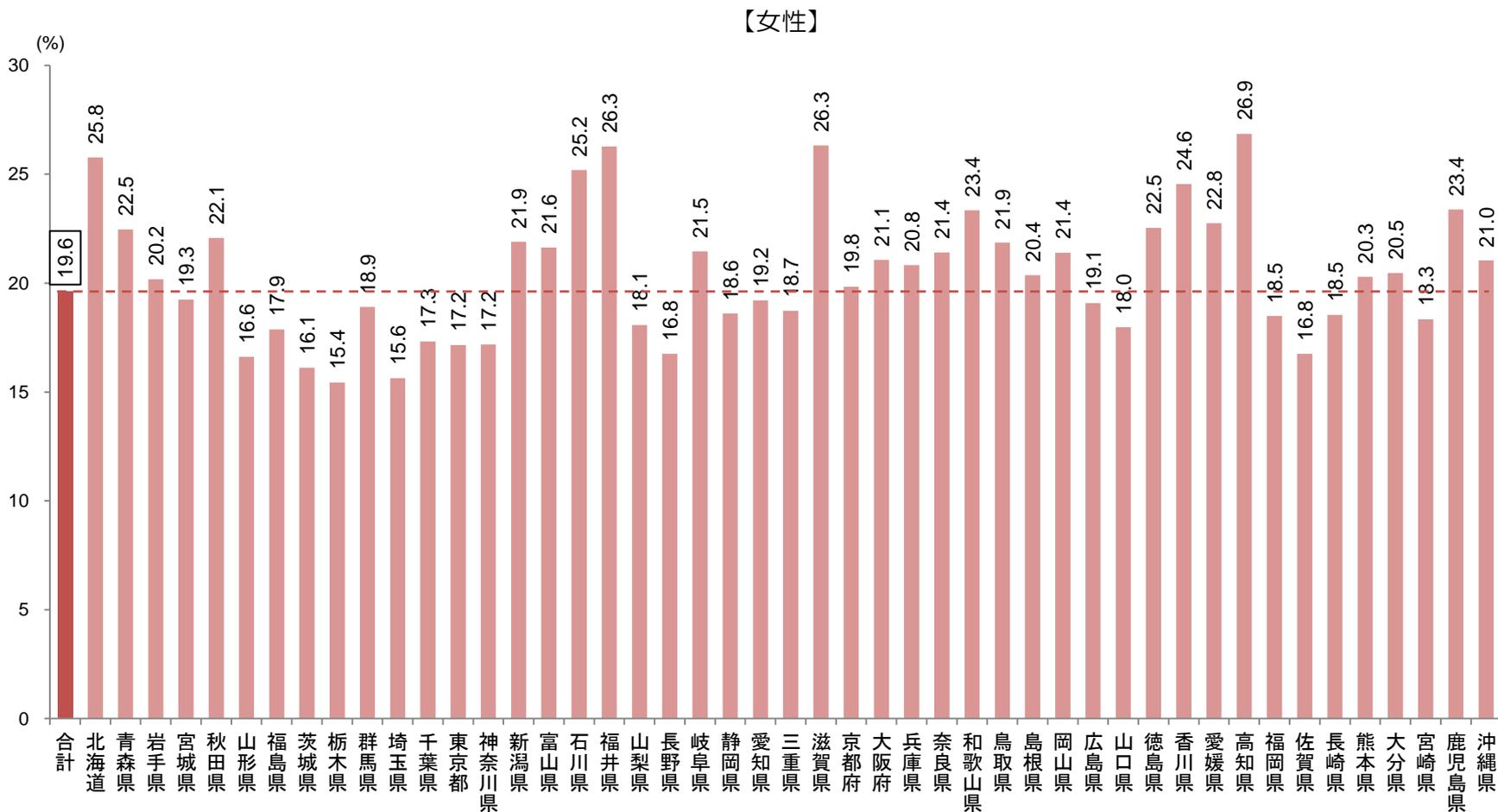
「夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上ある」者の割合をみると、合計：14.2%に対して、高い割合を示しているのは、①滋賀県：20.1%、②福井県：18.4%、③高知県：17.9%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①山形県：10.6%、②栃木県、埼玉県：11.8%、③鹿児島県：11.9%となっている。



※対象464組合（問診回答者数：177万6,126人、うち該当者数：25万1,619人）

平成27年度 夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上ある者の割合【女性】

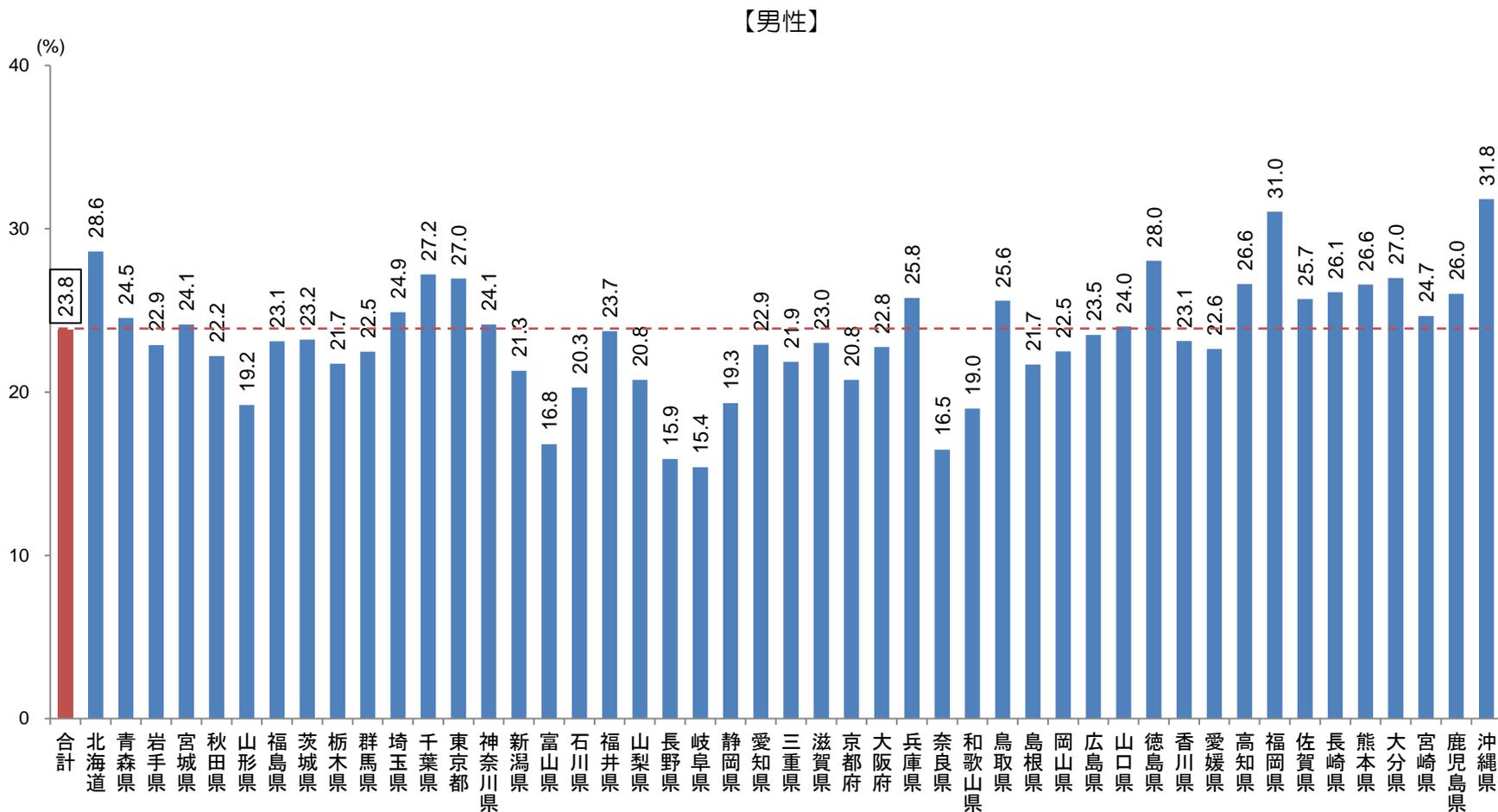
「夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上ある」者の割合をみると、合計：19.6%に対して、高い割合を示しているのは、①高知県：26.9%、②福井県、滋賀県：26.3%、③北海道：25.8%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①栃木県：15.4%、②埼玉県：15.6%、③茨城県：16.1%となっている。



※対象464組合（問診回答者数：116万4,595人、うち該当者数：22万8,519人）

平成27年度 朝食を抜くことが週に3回以上ある者の割合【男性】

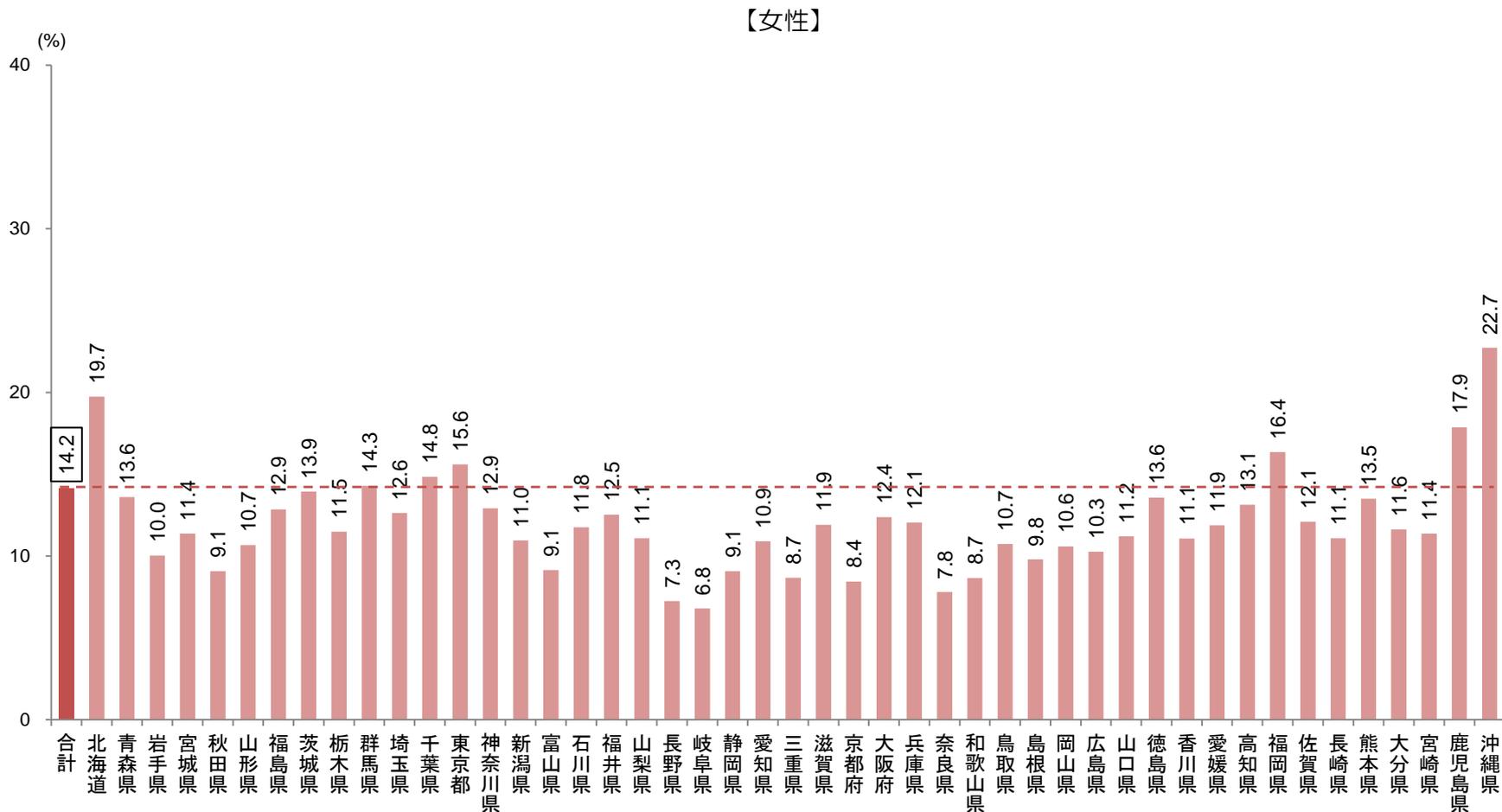
「朝食を抜くことが週に3回以上ある」者の割合をみると、合計：23.8%に対して、高い割合を示しているのは、①沖縄県：31.8%、②福岡県：31.0%、③北海道：28.6%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①岐阜県：15.4%、②長野県：15.9%、③奈良県：16.5%となっている。



※対象464組合（問診回答者数：175万2,308人、うち該当者数：41万6,983人）

平成27年度 朝食を抜くことが週に3回以上ある者の割合【女性】

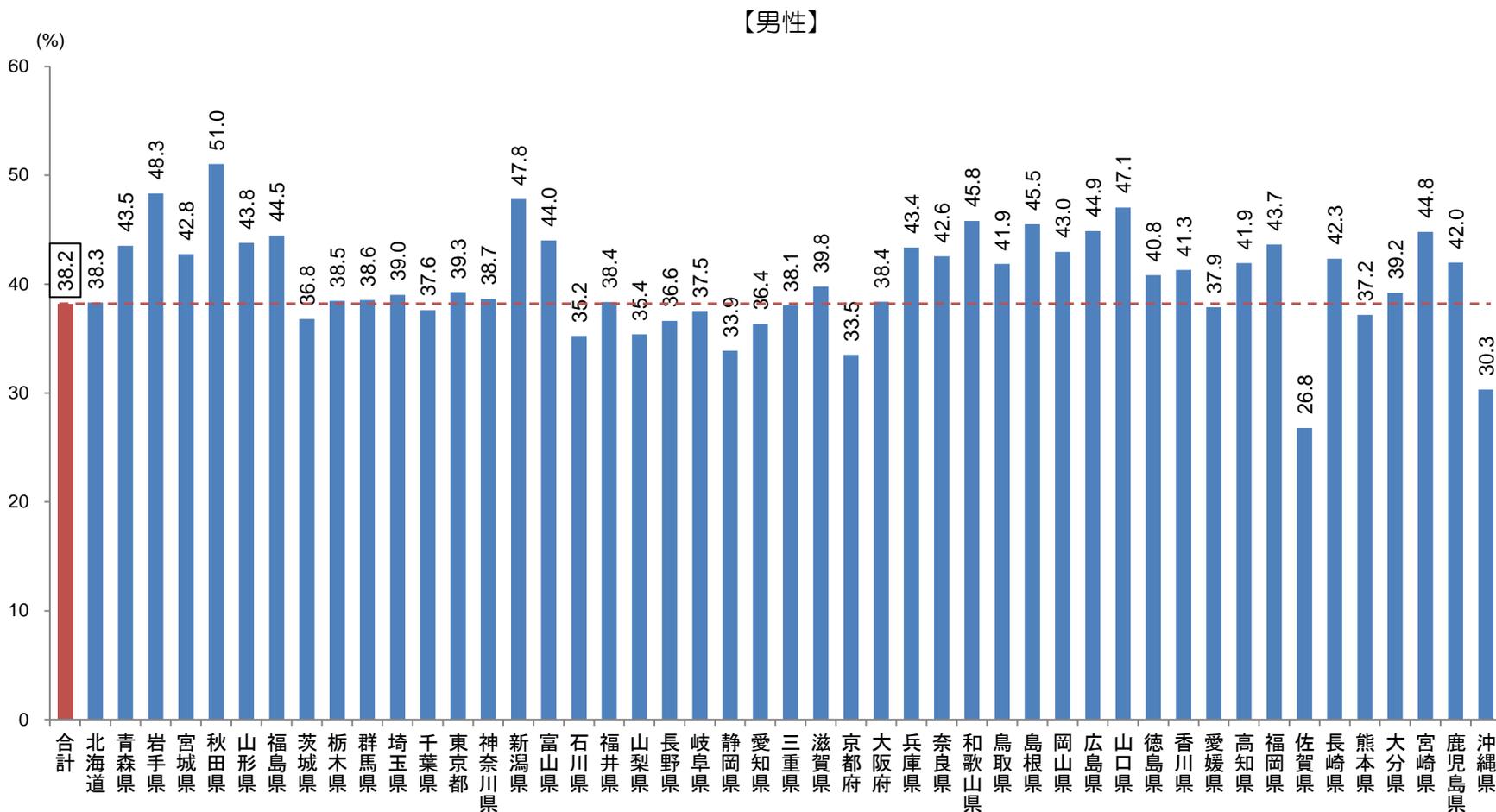
「朝食を抜くことが週に3回以上ある」者の割合をみると、合計：14.2%に対して、高い割合を示しているのは、①沖縄県：22.7%、②北海道：19.7%、③鹿児島県：17.9%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①岐阜県：6.8%、②長野県：7.3%、③奈良県：7.8%となっている。



※対象464組合（問診回答者数：114万5,947人、うち該当者数：16万2,095人）

平成27年度 お酒を飲む頻度<毎日>の割合【男性】

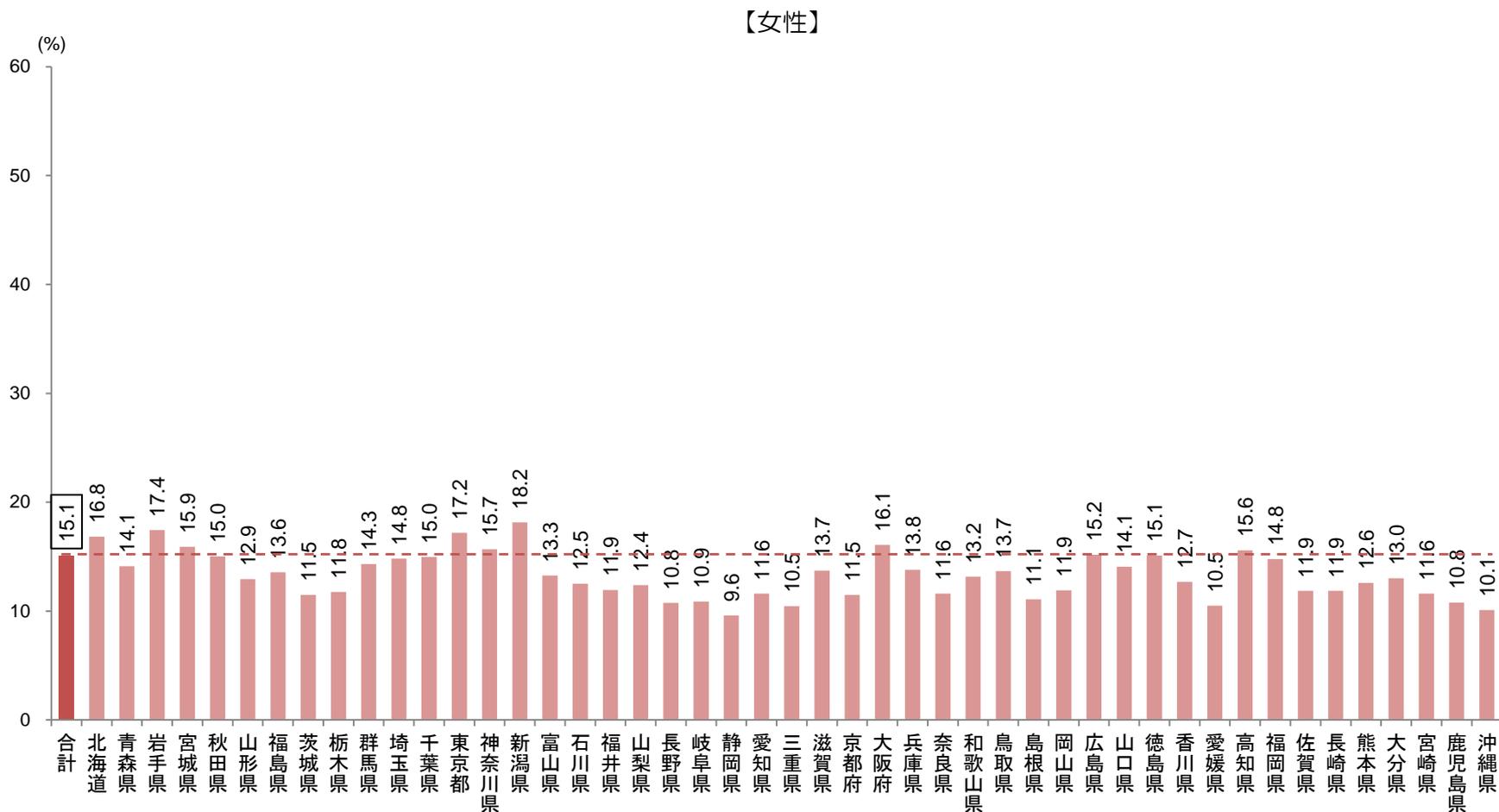
「お酒を飲む頻度<毎日>」の割合をみると、合計：38.2%に対して、高い割合を示しているのは、①秋田県：51.0%、②岩手県：48.3%、③新潟県：47.8%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①佐賀県：26.8%、②沖縄県：30.3%、③京都府：33.5%となっている。



※対象464組合（問診回答者数：179万1,857人、うち該当者数：68万4,021人）

平成27年度 お酒を飲む頻度＜毎日＞の割合【女性】

「お酒を飲む頻度＜毎日＞」の割合をみると、合計：15.1%に対して、高い割合を示しているのは、①新潟県：18.2%、②岩手県：17.4%、③東京都：17.2%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①静岡県：9.6%、②沖縄県：10.1%、③三重県：10.5%となっている。

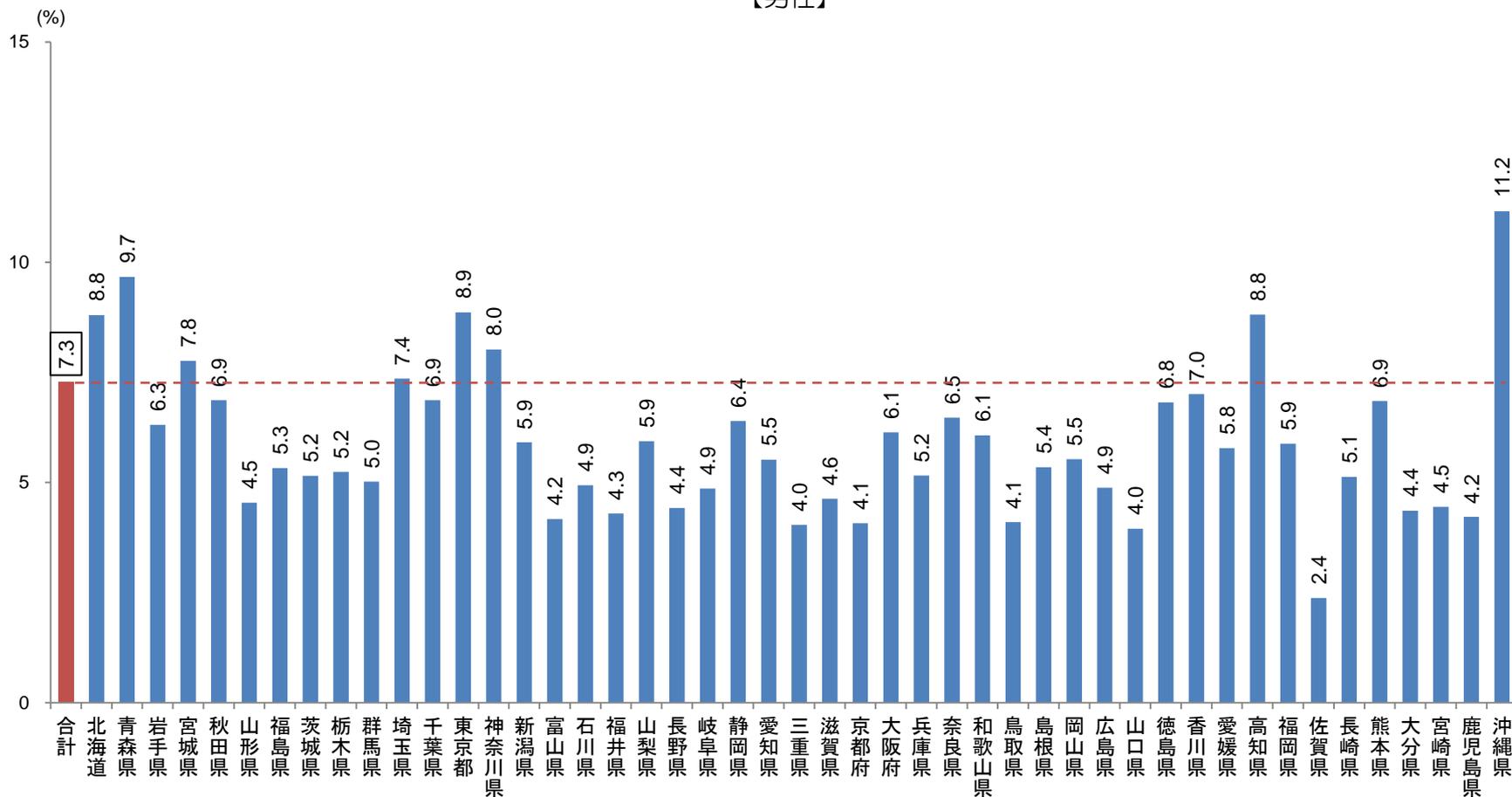


※対象464組合（問診回答者数：117万4,275人、うち該当者数：17万7,398人）

平成27年度 飲酒日の1日当たりの飲酒量<3合以上>の割合【男性】

「飲酒日の1日当たりの飲酒量<3合以上>」の割合をみると、合計：7.3%に対して、高い割合を示しているのは、①沖縄県：11.2%、②青森県：9.7%、③東京都：8.9%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①佐賀県：2.4%、②三重県、山口県：4.0%、③京都府、鳥取県：4.1%となっている。

【男性】

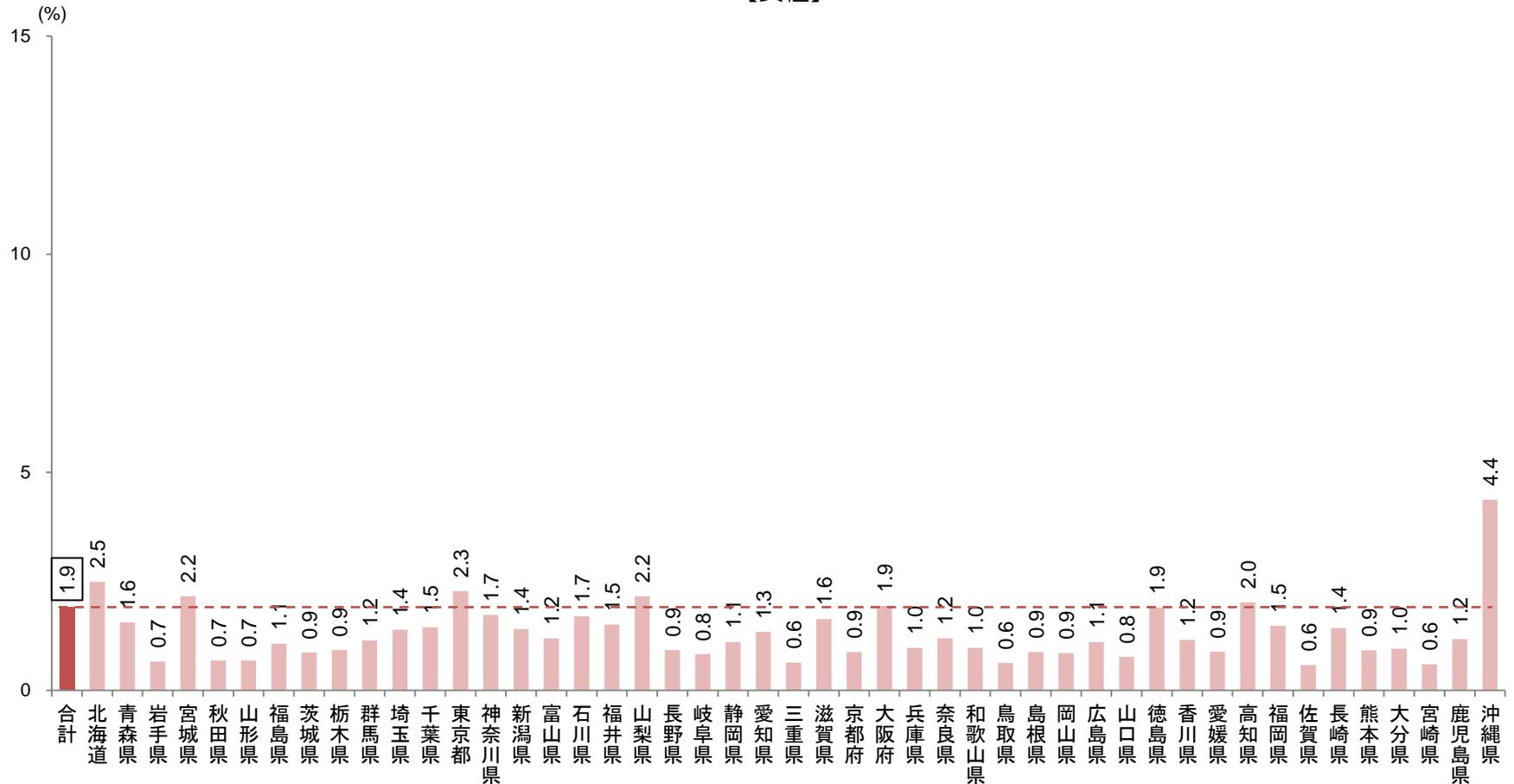


※対象464組合（問診回答者数：147万7,438人、うち該当者数：10万7,547人）

平成27年度 飲酒日の1日当たりの飲酒量<3合以上>の割合【女性】

「飲酒日の1日当たりの飲酒量<3合以上>」の割合をみると、合計：1.9%に対して、高い割合を示しているのは、①沖縄県：4.4%、②北海道：2.5%、③東京都：2.3%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①三重県、鳥取県、佐賀県、宮崎県：0.6%、②岩手県、秋田県、山形県：0.7%、③岐阜県、山口県：0.8%となっている。

【女性】



※対象464組合（問診回答者数：83万9,198人、うち該当者数：1万5,988人）

【2】健康状態（健診検査値による）

1）メタボリックシンドロームの状況

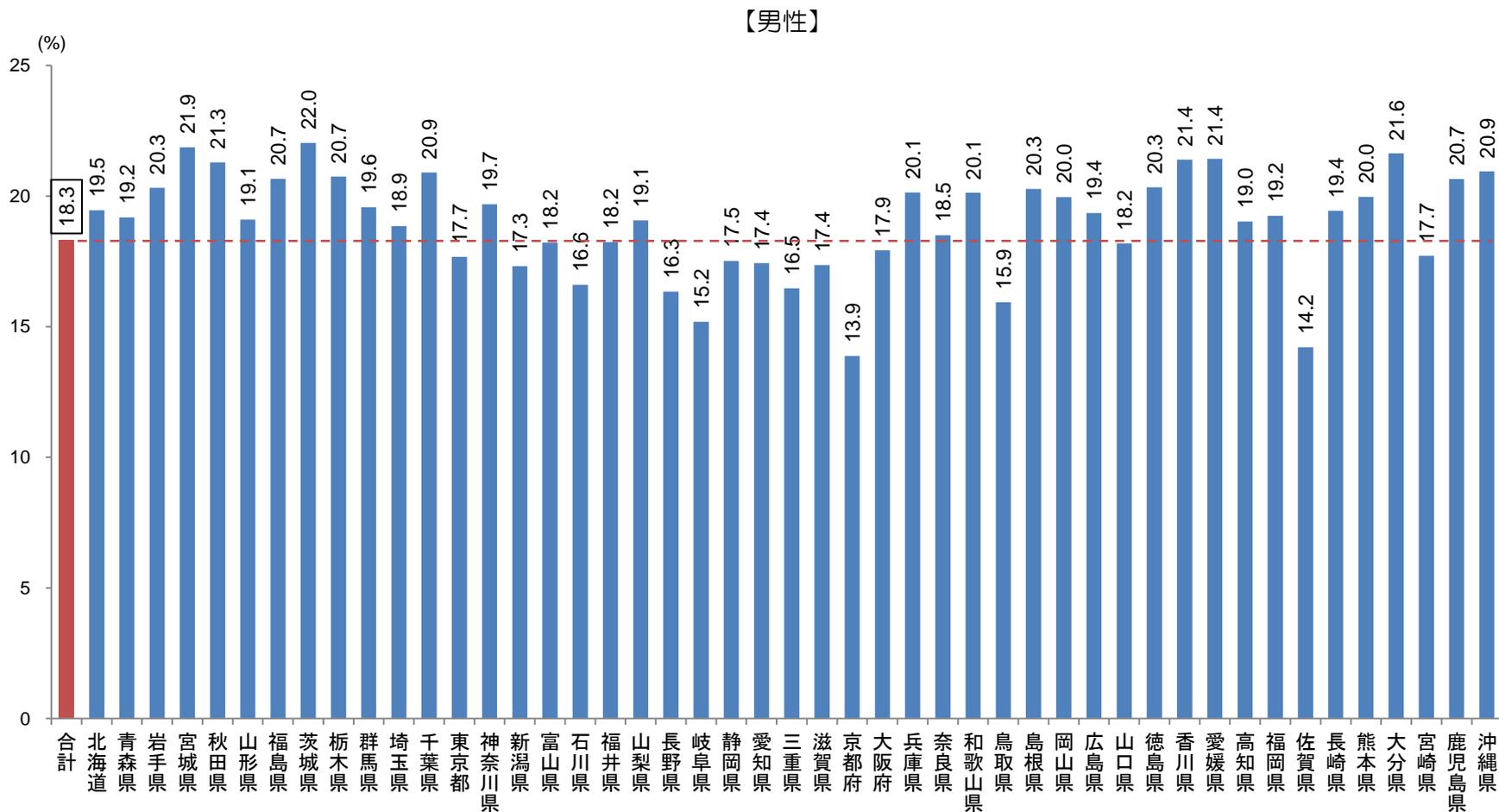
①該当者割合、②予備群割合

2）健診検査値リスク保有者（保健指導基準値以上の者）の割合

①肥満、②血圧、③脂質、④血糖、⑤肝機能

平成27年度 メタボリックシンドローム該当者割合【男性】

メタボリックシンドローム該当者の割合をみると、合計：18.3%に対して、高い割合を示しているのは、①茨城県：22.0%、②宮城県：21.9%、③大分県：21.6%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①京都府：13.9%、②佐賀県：14.2%、③岐阜県：15.2%となっている。

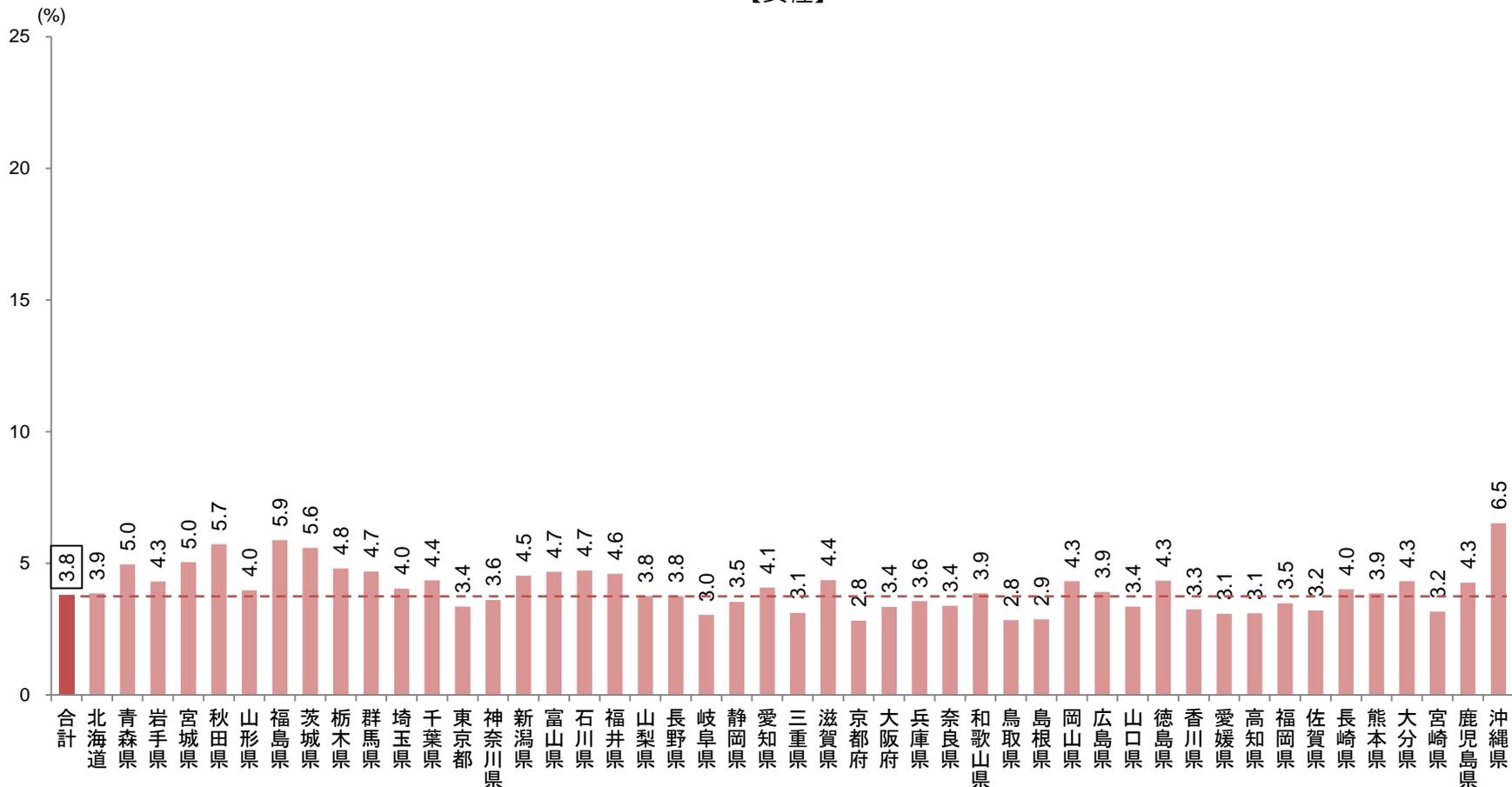


※対象464組合（判定対象者数：206万8,603人、うち該当者数：37万8,776人）

平成27年度 メタボリックシンドローム該当者割合【女性】

メタボリックシンドローム該当者の割合をみると、合計：3.8に対して、高い割合を示しているのは、①沖縄県：6.5%、②福島県：5.9%、③秋田県：5.7%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①京都府、鳥取県：2.8%、②島根県：2.9%と、③岐阜県：3.0%となっている。

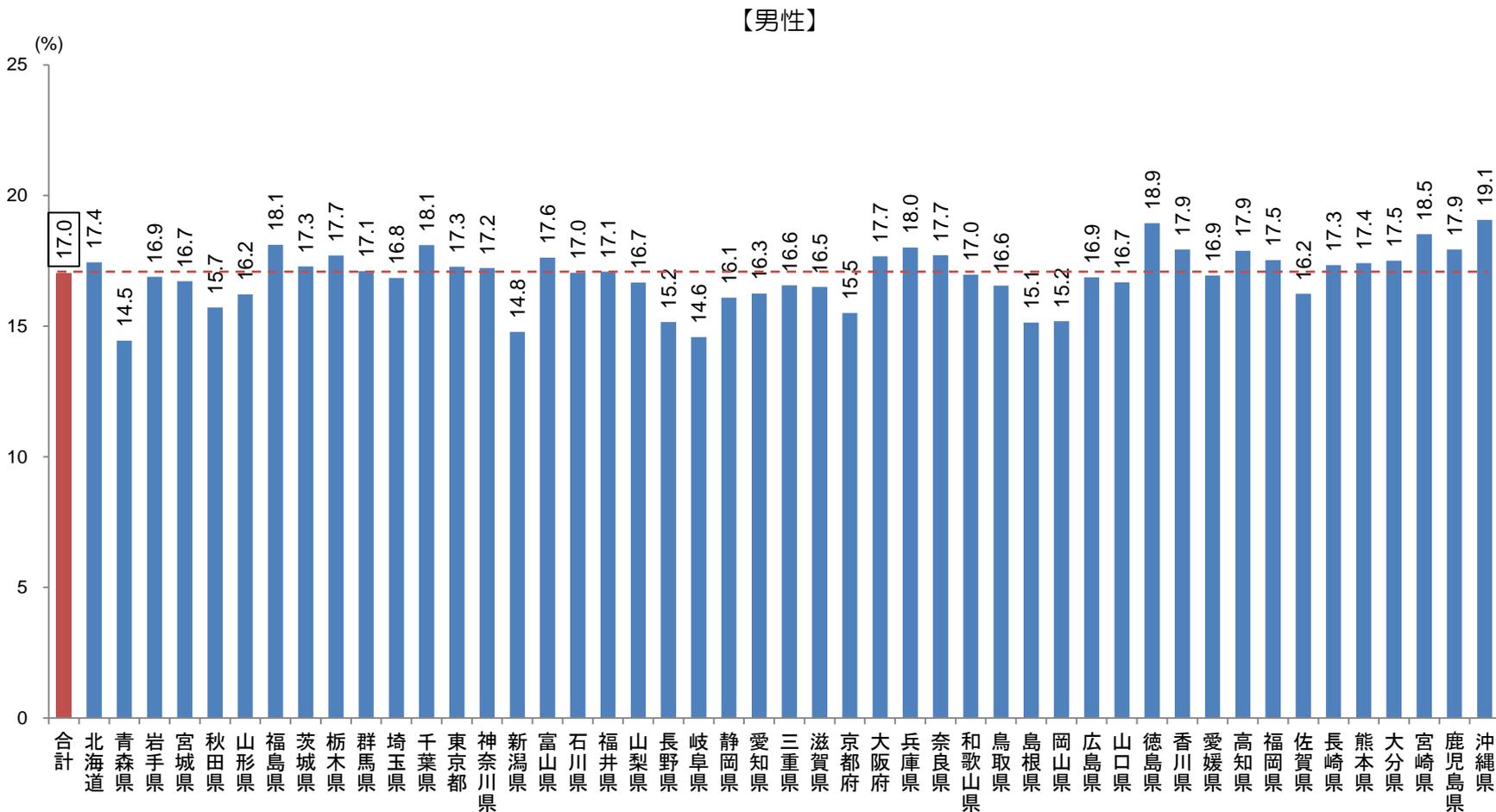
【女性】



※対象464組合（判定対象者数：131万9,997人、うち該当者数：4万9,965人）

平成27年度 メタボリックシンドローム予備群割合【男性】

メタボリックシンドローム予備群の割合をみると、合計：17.0%に対して、高い割合を示しているのは、①沖縄県：19.1%、②徳島県：18.9%、③宮崎県：18.5%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①青森県：14.5%、②岐阜県：14.6%、③新潟県：14.8%となっている。

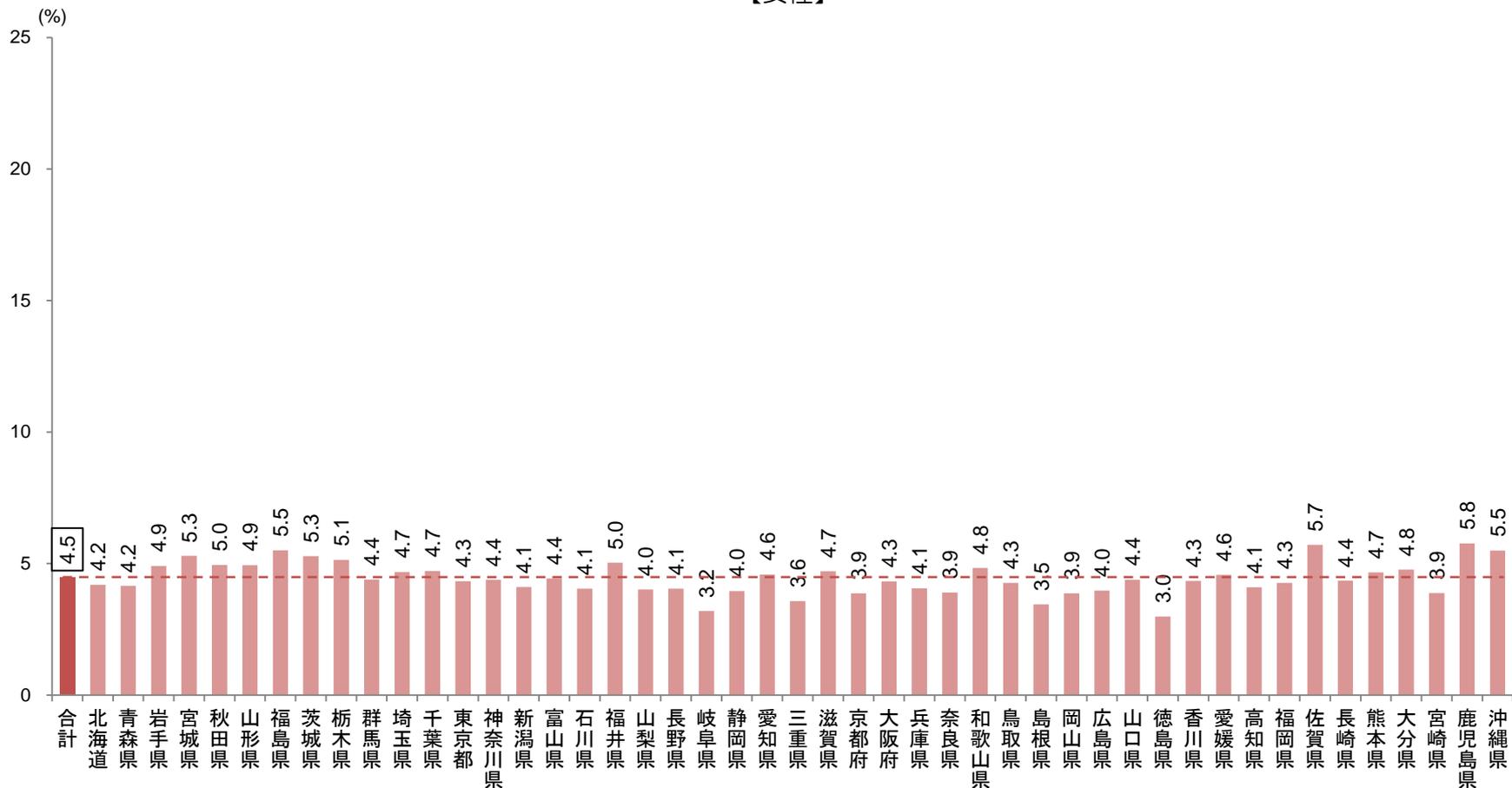


※対象464組合（判定対象者数：206万8,603人、うち該当者数：35万2,201人）

平成27年度 メタボリックシンドローム予備群割合【女性】

メタボリックシンドローム予備群の割合をみると、合計：4.5%に対して、高い割合を示しているのは、①鹿児島県：5.8%、②佐賀県：5.7%、③福島県、沖縄県：5.5%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①徳島県：3.0%、②岐阜県：3.2%、③島根県：3.5%となっている。

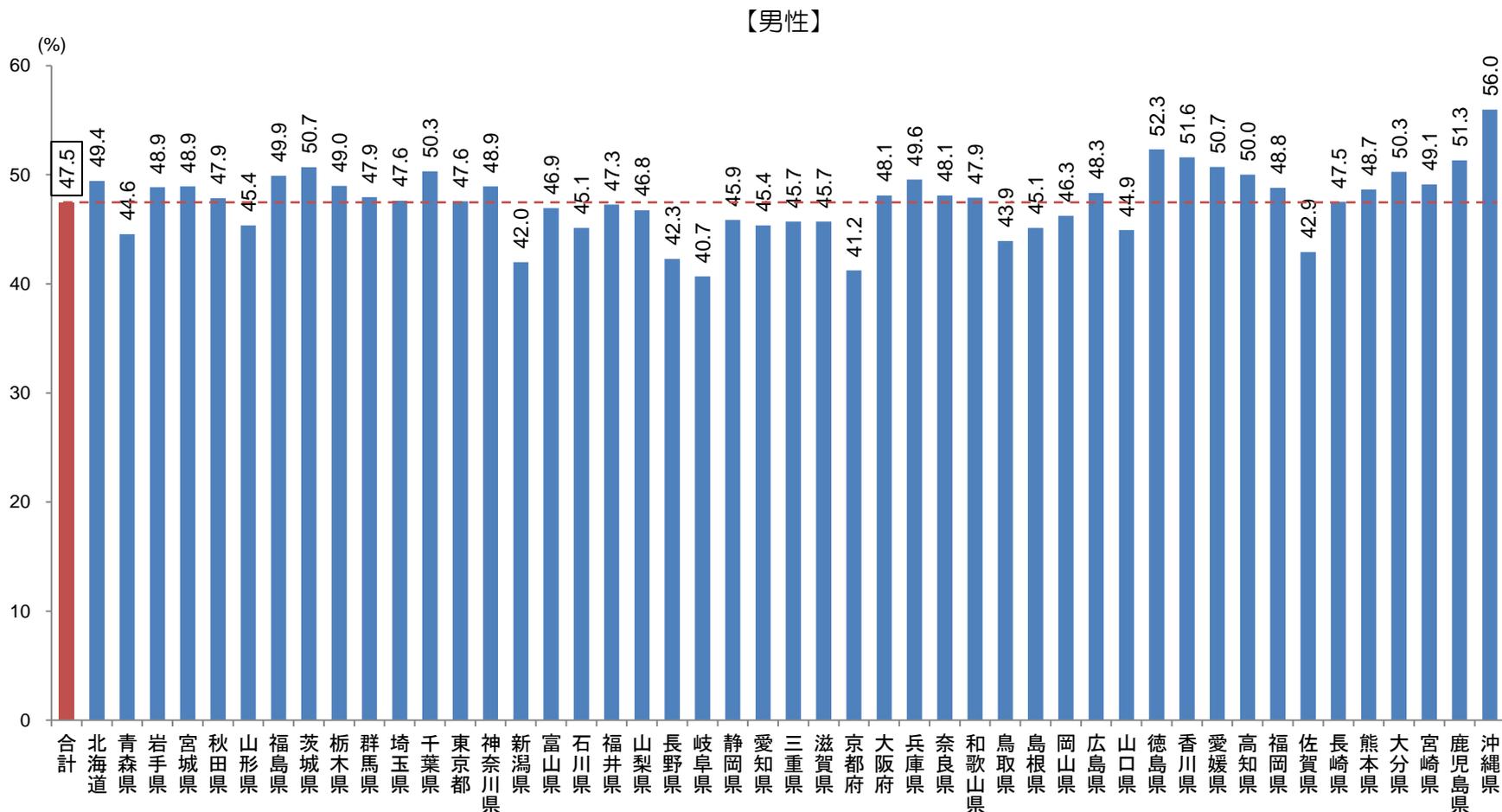
【女性】



※対象464組合（判定対象者数：131万9,997人、うち該当者数：5万9,053人）

平成27年度 肥満リスク保有者割合【男性】

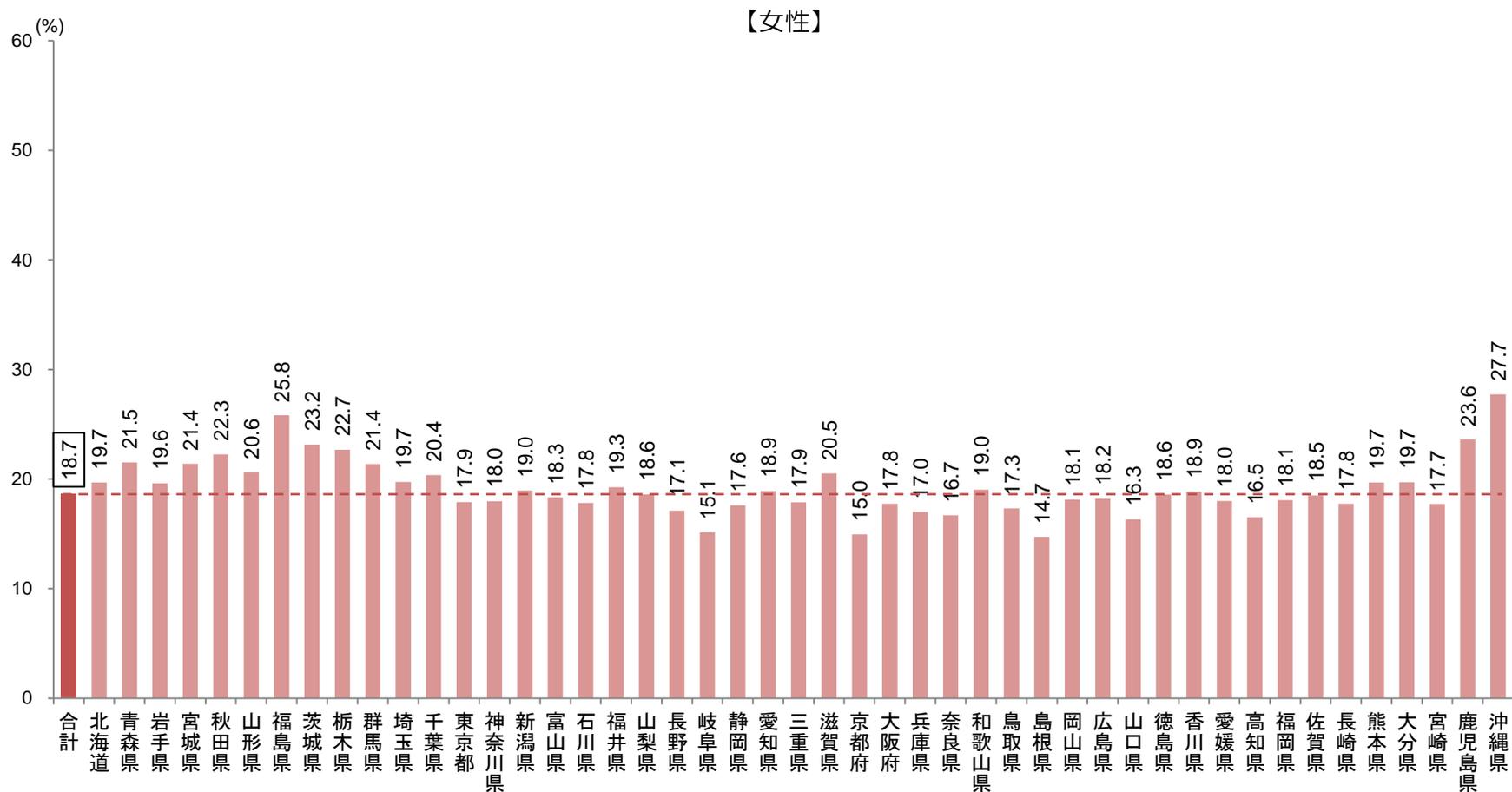
肥満リスク保有者の割合をみると、合計：47.5%に対して、高い割合を示しているのは、①沖縄県：56.0%、②徳島県：52.3%、③香川県：51.6%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①岐阜県：40.7%、②京都府：41.2%、③新潟県：42.0%となっている。



※対象464組合（「肥満」検査受診者数：207万3,464人、うち該当者数：98万4,480人）

平成27年度 肥満リスク保有者割合【女性】

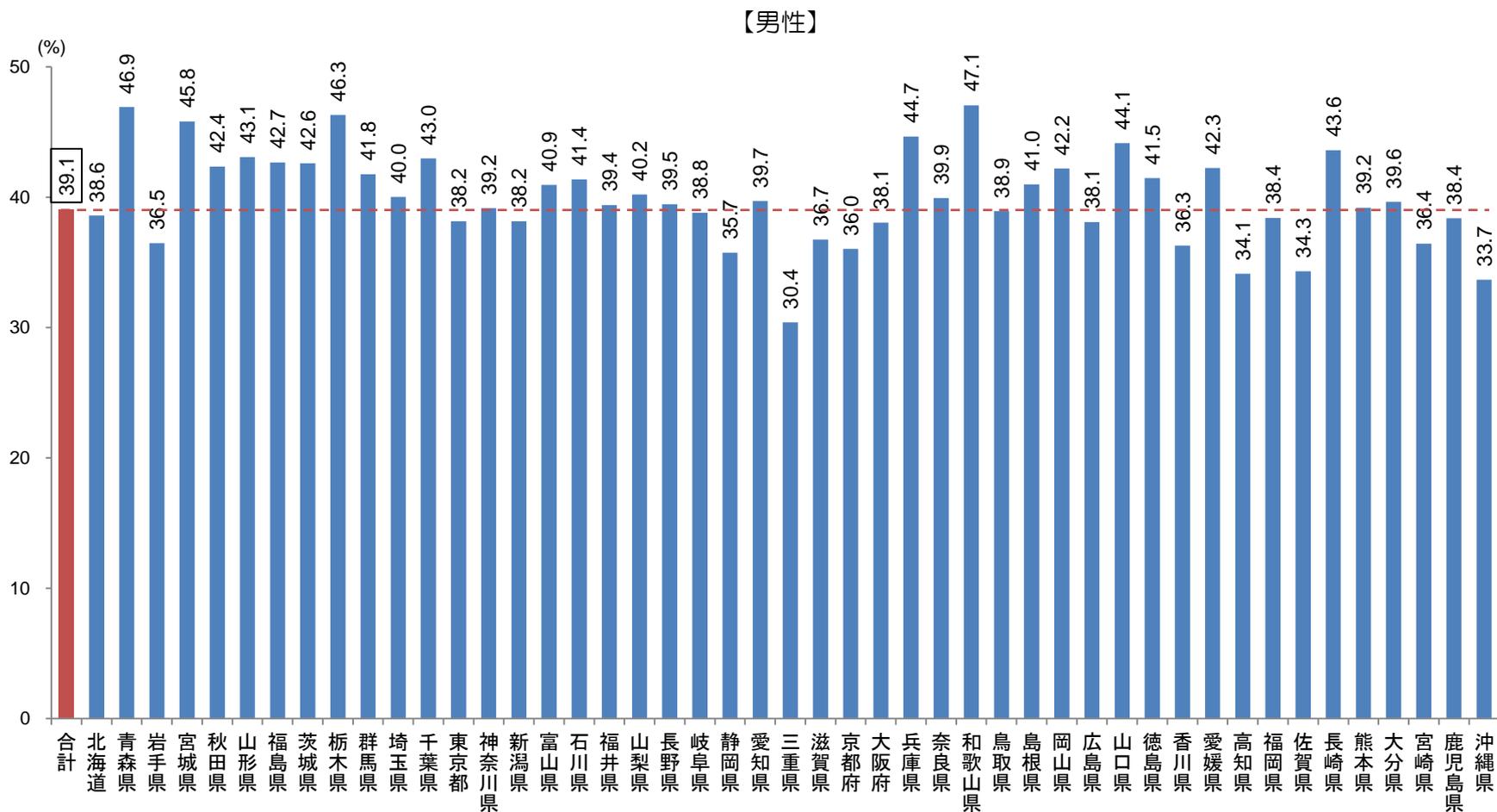
肥満リスク保有者の割合をみると、合計：18.7%に対して、高い割合を示しているのは、①沖縄県：27.7%、②福島県：25.8%、③鹿児島県：23.6%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①島根県：14.7%、②京都府：15.0%、③岐阜県：15.1%となっている。



※対象464組合（「肥満」検査受診者数：132万1,735人、うち該当者数：24万6,827人）

平成27年度 血圧リスク保有者割合【男性】

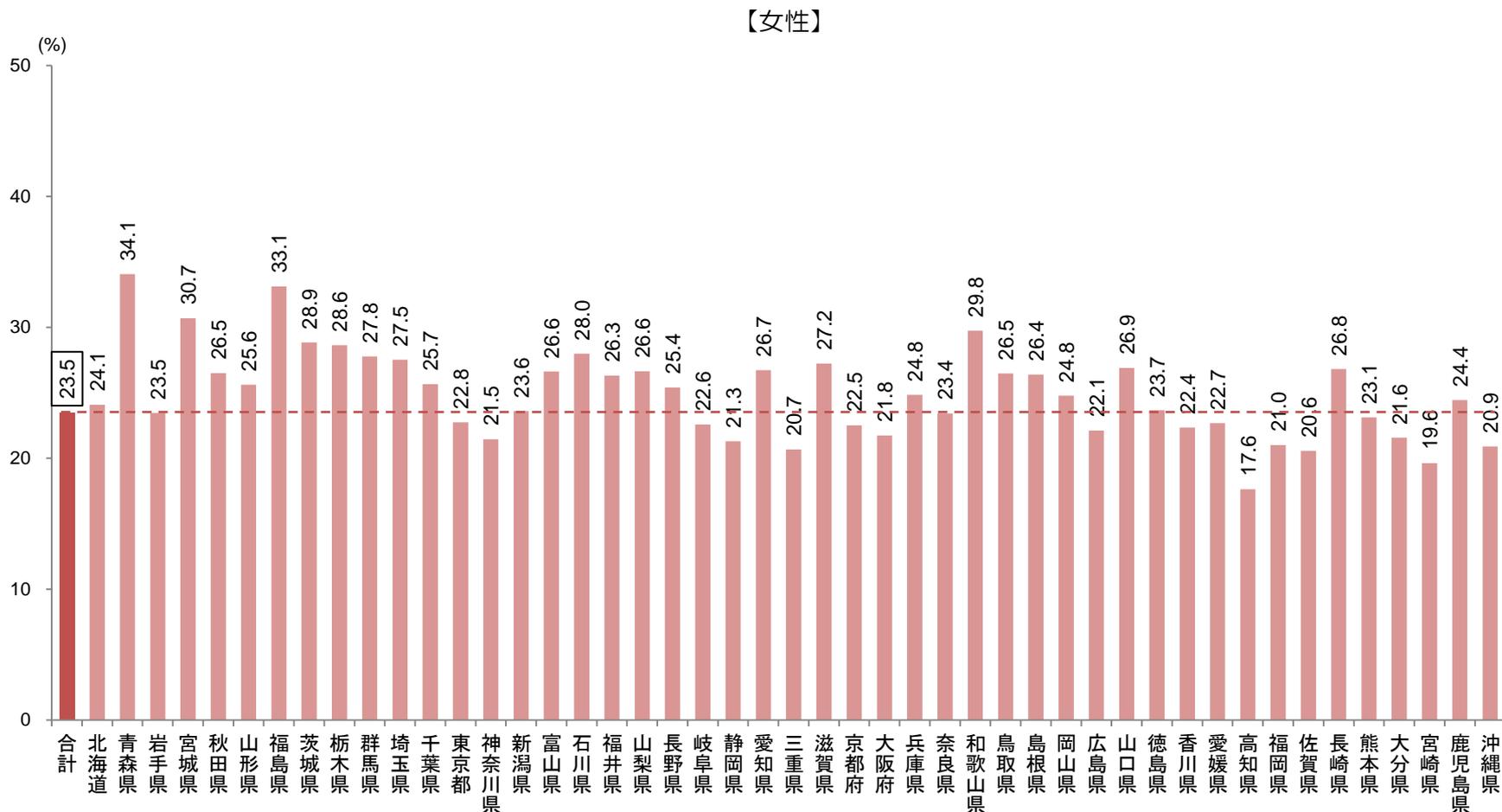
血圧リスク保有者の割合をみると、合計：39.1%に対して、高い割合を示しているのは、①和歌山県：47.1%、②青森県：46.9%、③栃木県：46.3%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①三重県：30.4%、②沖縄県：33.7%、③高知県：34.1%となっている。



※対象464組合（「血圧」検査受診者数：207万2,090人、うち該当者数：80万9,709人）

平成27年度 血圧リスク保有者割合【女性】

血圧リスク保有者の割合をみると、合計：23.5%に対して、高い割合を示しているのは、①青森県：34.1%、②福島県：33.1%、③宮城県：30.7%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①高知県：17.6%、②宮崎県：19.6%、③佐賀県：20.6%となっている。

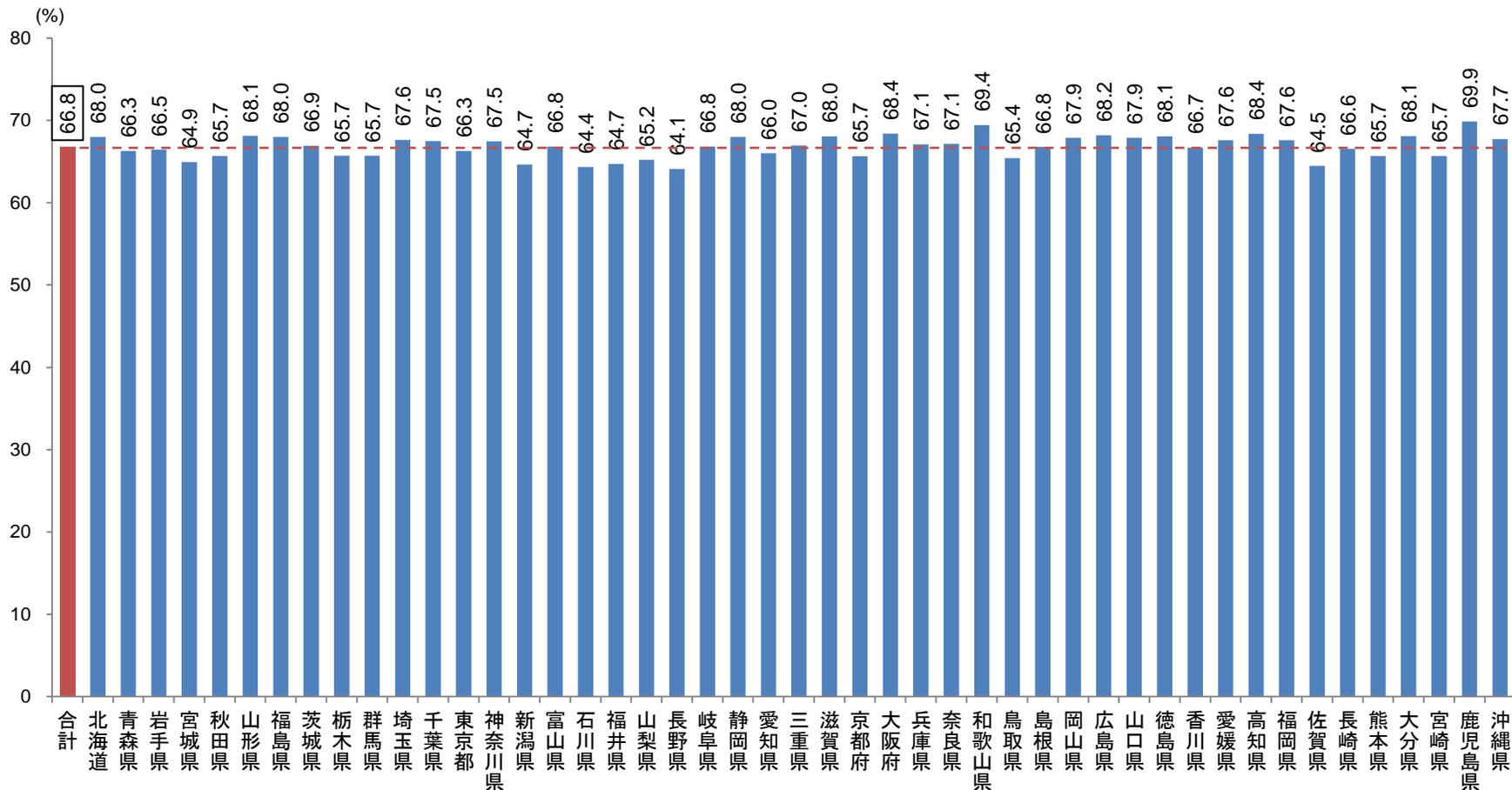


※対象464組合（「血圧」検査受診者数：132万1,236人、うち該当者数：31万349人）

平成27年度 脂質リスク保有者割合（LDLコレステロールを含む）【男性】

脂質リスク（LDLを含む）保有者の割合をみると、合計：66.8%に対して、高い割合を示しているのは、①鹿児島県：69.9%、②和歌山県：69.4%、③大阪府：68.4%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①長野県：64.1%、②石川県：64.4%、③佐賀県：64.5%となっている。

【男性】

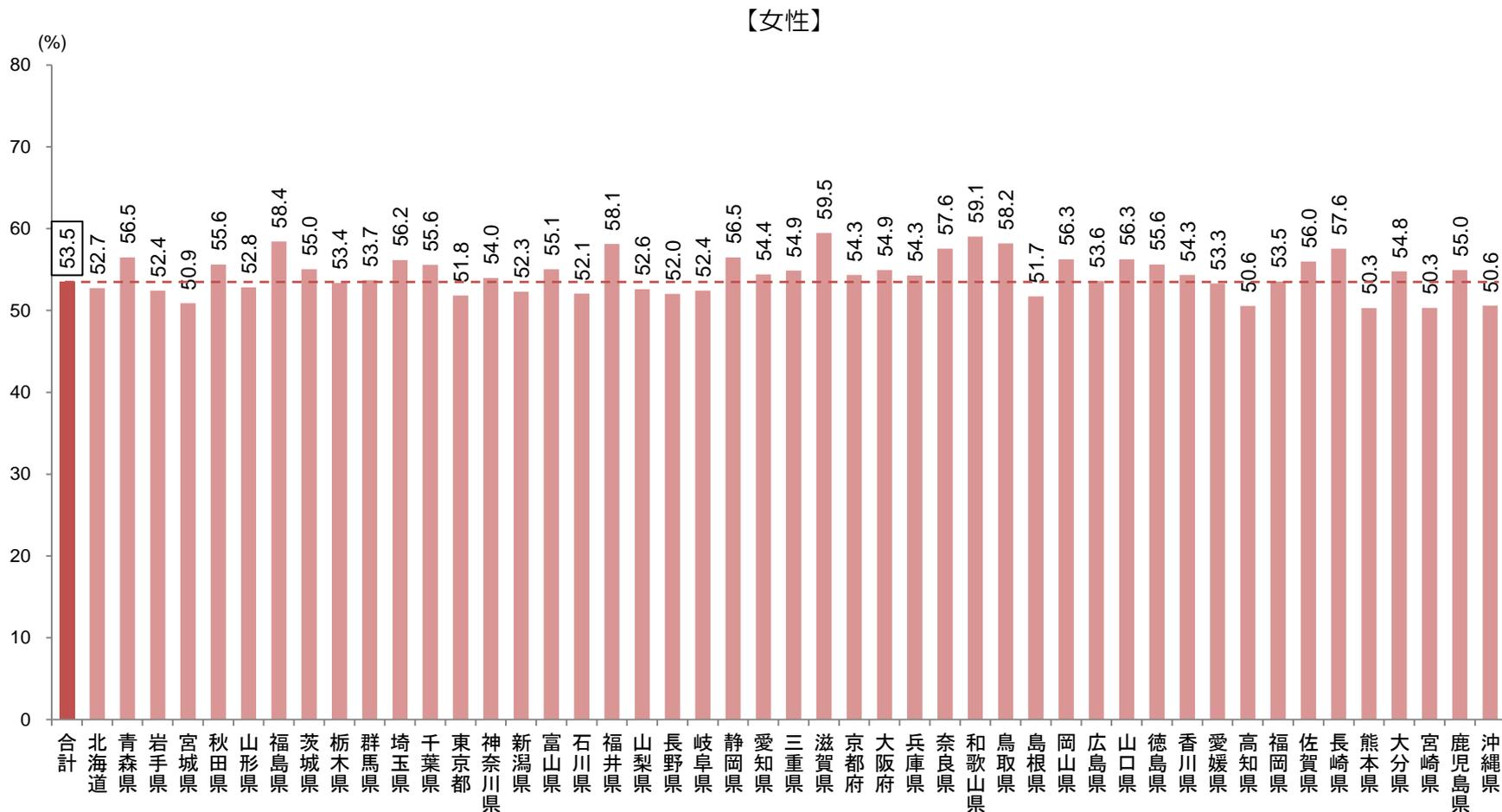


※対象464組合（「脂質」検査受診者数：207万2,565人、うち該当者数：138万3,461人）

1 本統計における脂質リスク保有者割合には、保健指導対象者の選定と階層化にあたって対象とはならない「LDLコレステロール」を含んでいる。
LDLコレステロール値を除いた脂質リスク保有者の割合についてはp.33-p.34を参照のこと。

平成27年度 脂質リスク保有者割合（LDLコレステロールを含む）【女性】

脂質リスク（LDLを含む）保有者の割合をみると、合計：53.5%に対して、高い割合を示しているのは、①滋賀県：59.5%、②和歌山県：59.1%、③福島県：58.4%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①熊本県、宮崎県：50.3%、②高知県、沖縄県：50.6%、③宮城県：50.9%となっている。

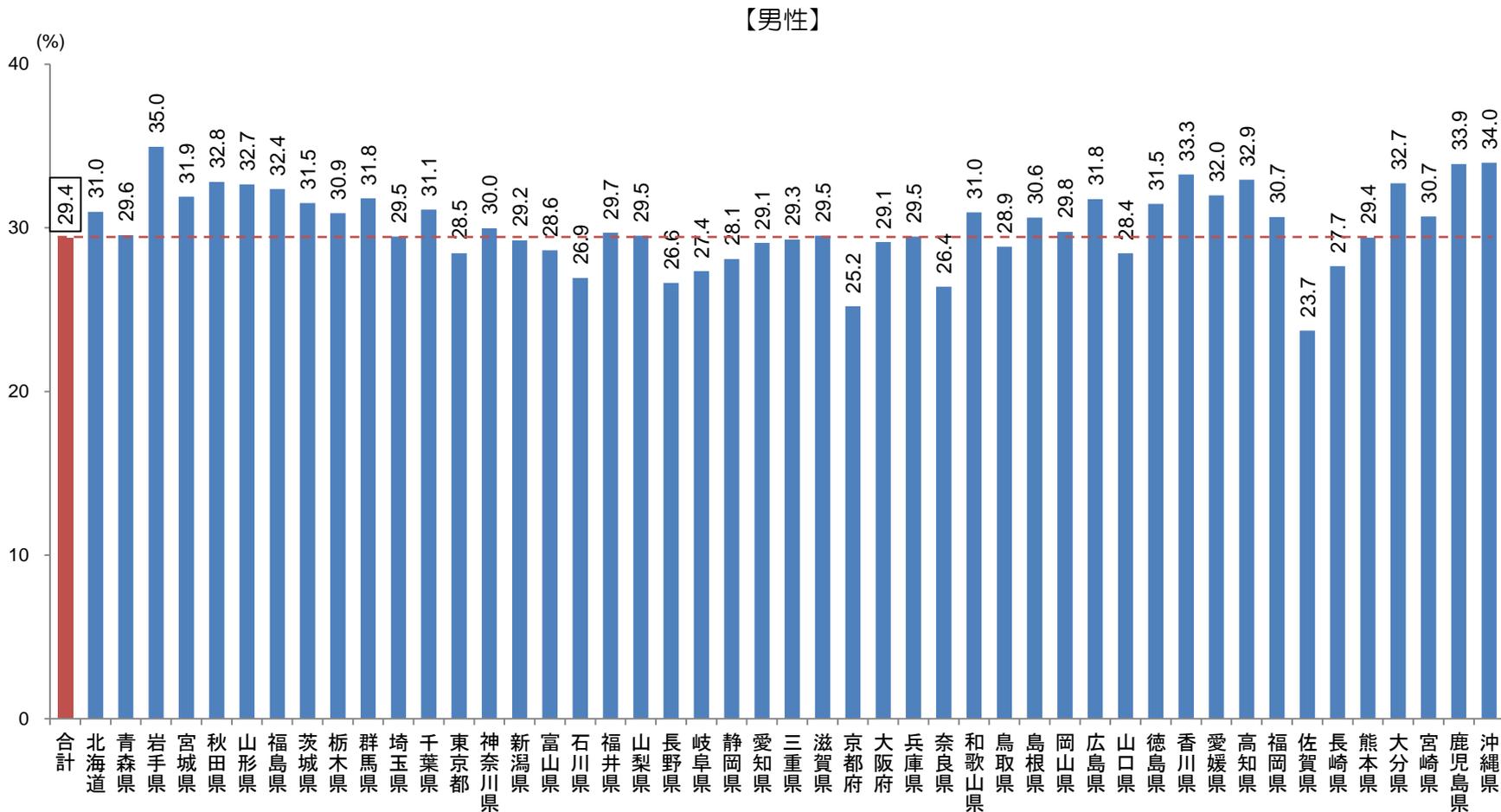


※対象464組合（「脂質」検査受診者数：132万1,218人、うち該当者数：70万6,458人）

1 本統計における脂質リスク保有者割合には、保健指導対象者の選定と階層化にあたって対象とはならない「LDLコレステロール」を含んでいる。
LDLコレステロール値を除いた脂質リスク保有者の割合についてはp.33-p.34を参照のこと。

平成27年度 脂質リスク保有者割合（LDLコレステロールを除く）【男性】

脂質リスク（LDLを除く）保有者の割合をみると、合計：29.4%に対して、高い割合を示しているのは、①岩手県：35.0%、②沖縄県：34.0%、③鹿児島県：33.9%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①佐賀県：23.7%、②京都府：25.2%、③奈良県：26.4%となっている。

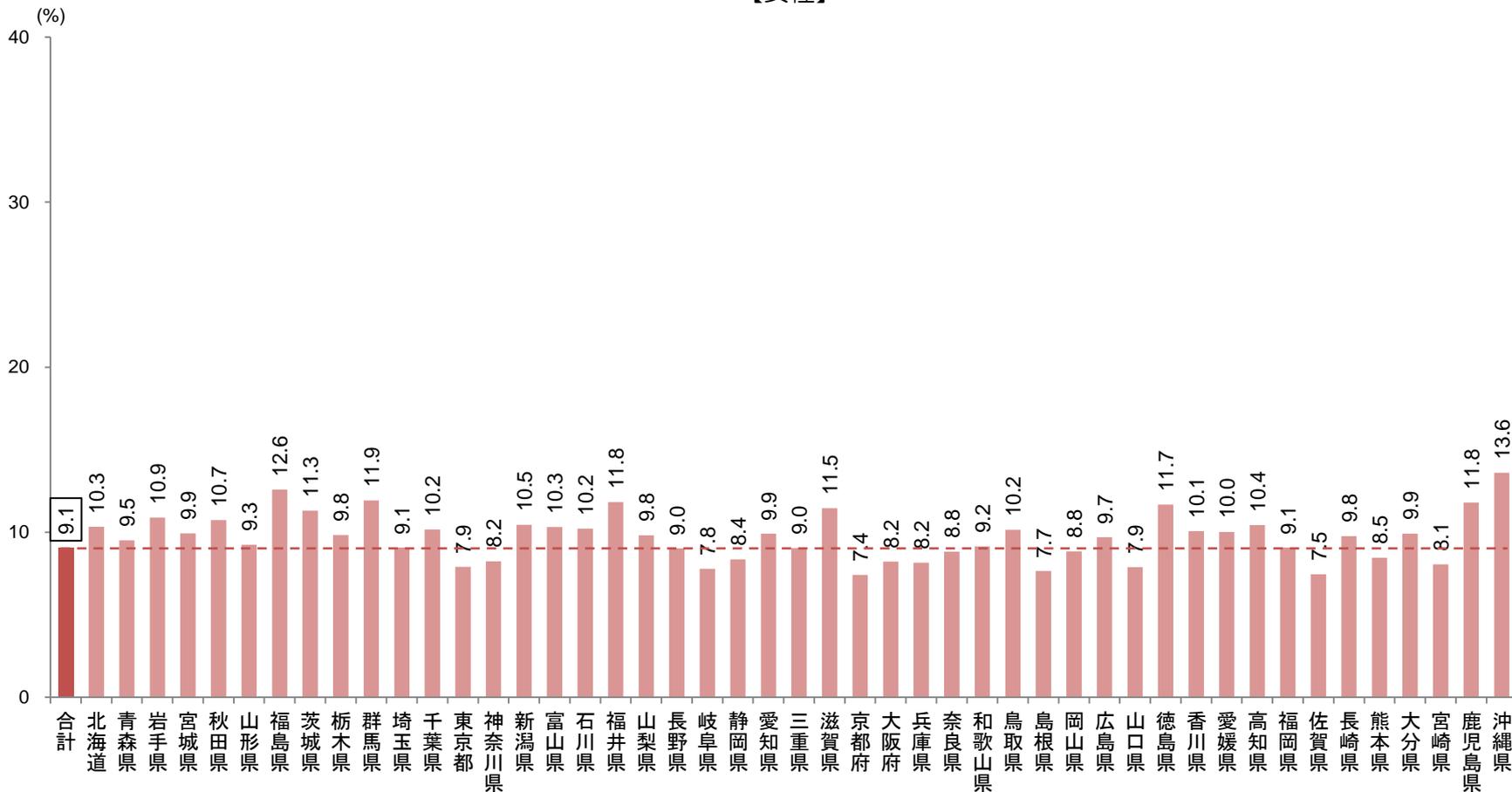


※対象464組合（「脂質」検査受診者数：207万2,646人、うち該当者数：60万8,737人）

平成27年度 脂質リスク保有者割合（LDLコレステロールを除く）【女性】

脂質リスク（LDLを除く）保有者の割合をみると、合計：9.1%に対して、高い割合を示しているのは、①沖縄県：13.6%、②福島県：12.6%、③群馬県：11.9%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①京都府：7.4%、②佐賀県：7.5%、③島根県：7.7%となっている。

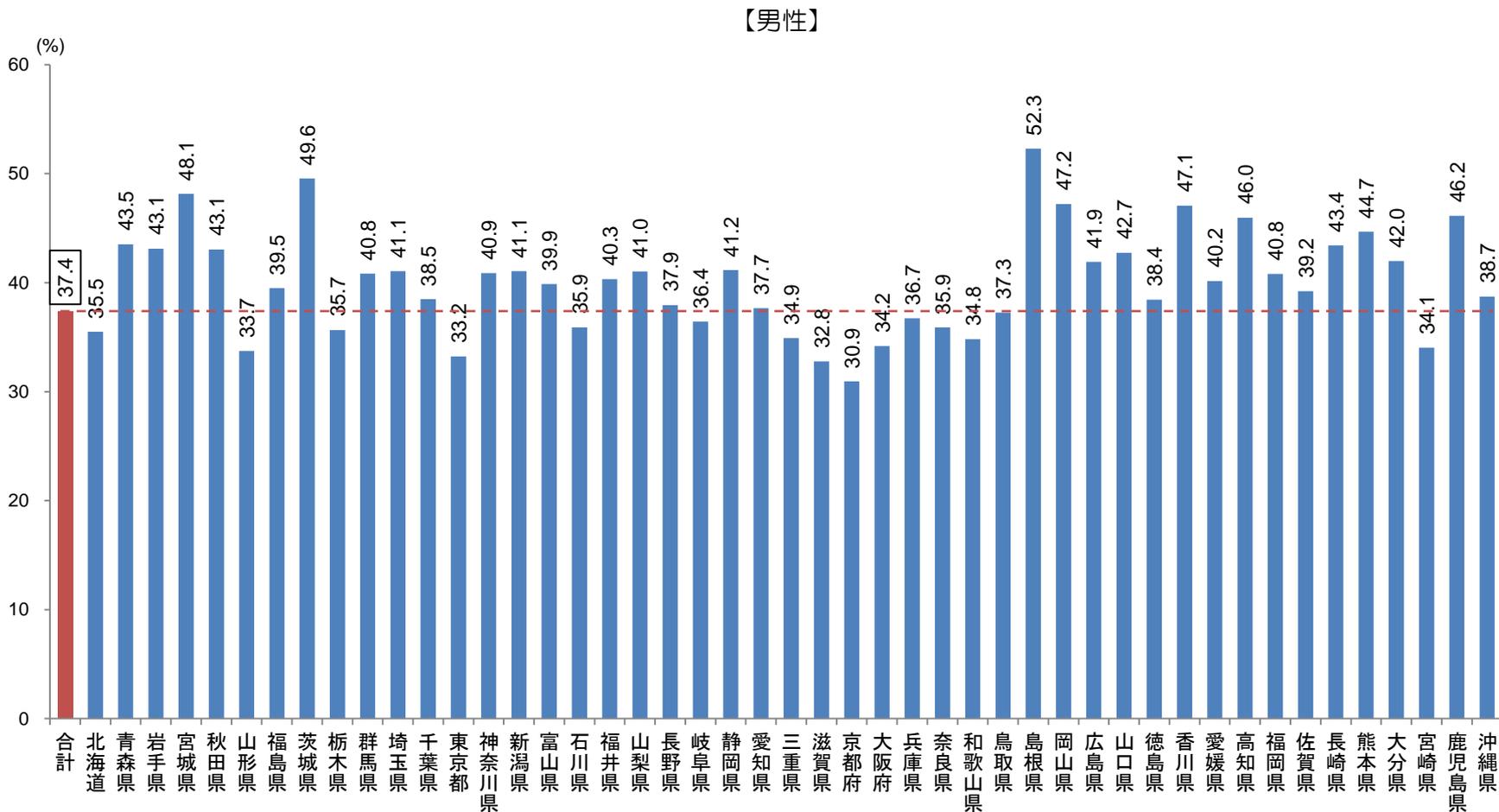
【女性】



※対象464組合（「脂質」検査受診者数：132万1,283人、うち該当者数：11万9,845人）

平成27年度 血糖リスク保有者割合【男性】

血糖リスク保有者の割合をみると、合計：37.4%に対して、高い割合を示しているのは、①島根県：52.3%、②茨城県：49.6%、③宮城県：48.1%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①京都府：30.9%、②滋賀県：32.8%、③東京都：33.2%となっている。

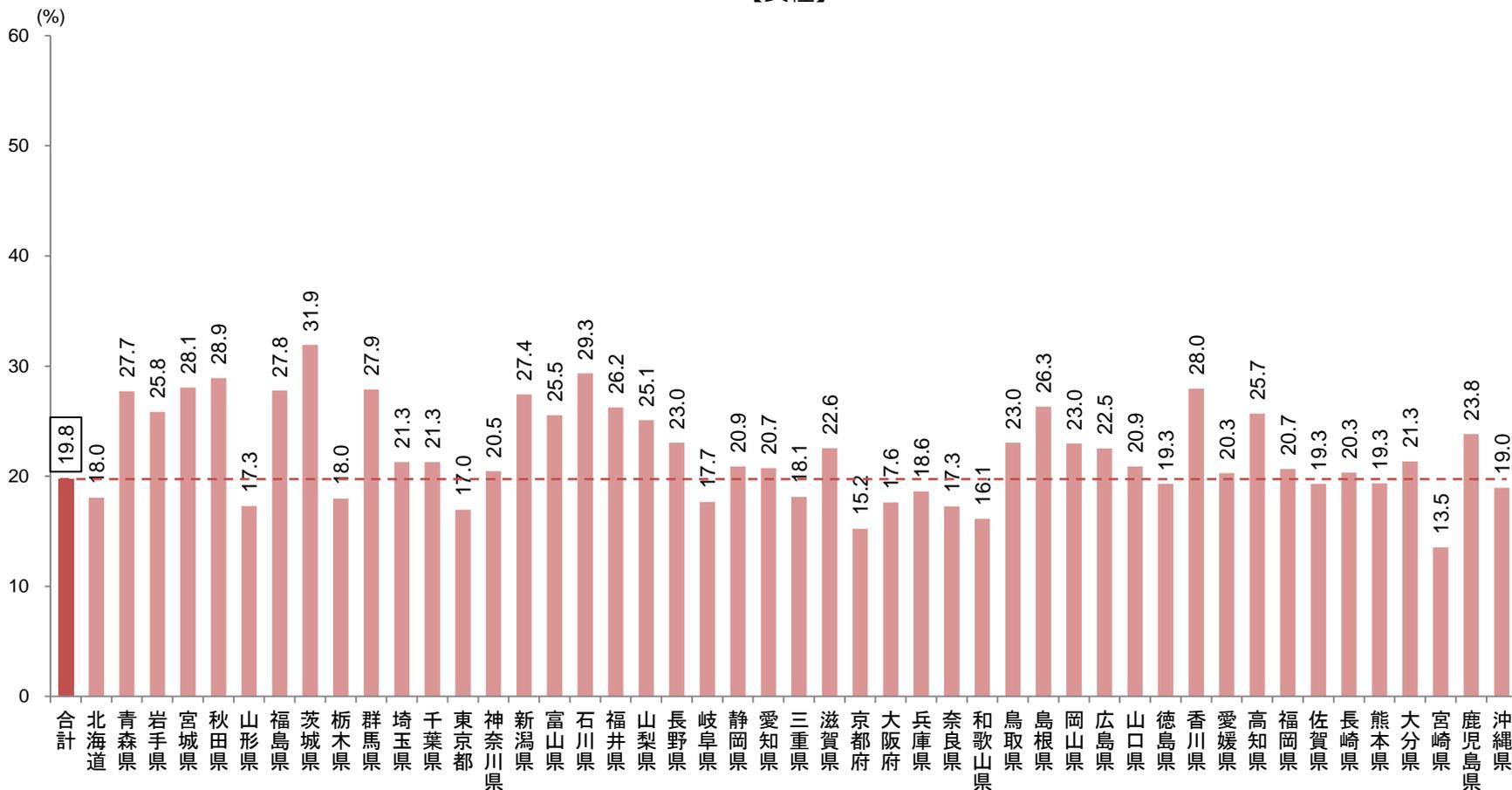


※対象464組合（「血糖」検査受診者数：206万6,406人、うち該当者数：77万3,134人）

平成27年度 血糖リスク保有者割合【女性】

血糖リスク保有者の割合をみると、合計：19.8%に対して、高い割合を示しているのは、①茨城県：31.9%、②石川県：29.3%、③秋田県：28.9%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①宮崎県：13.5%、②京都府：15.2%、③和歌山県：16.1%となっている。

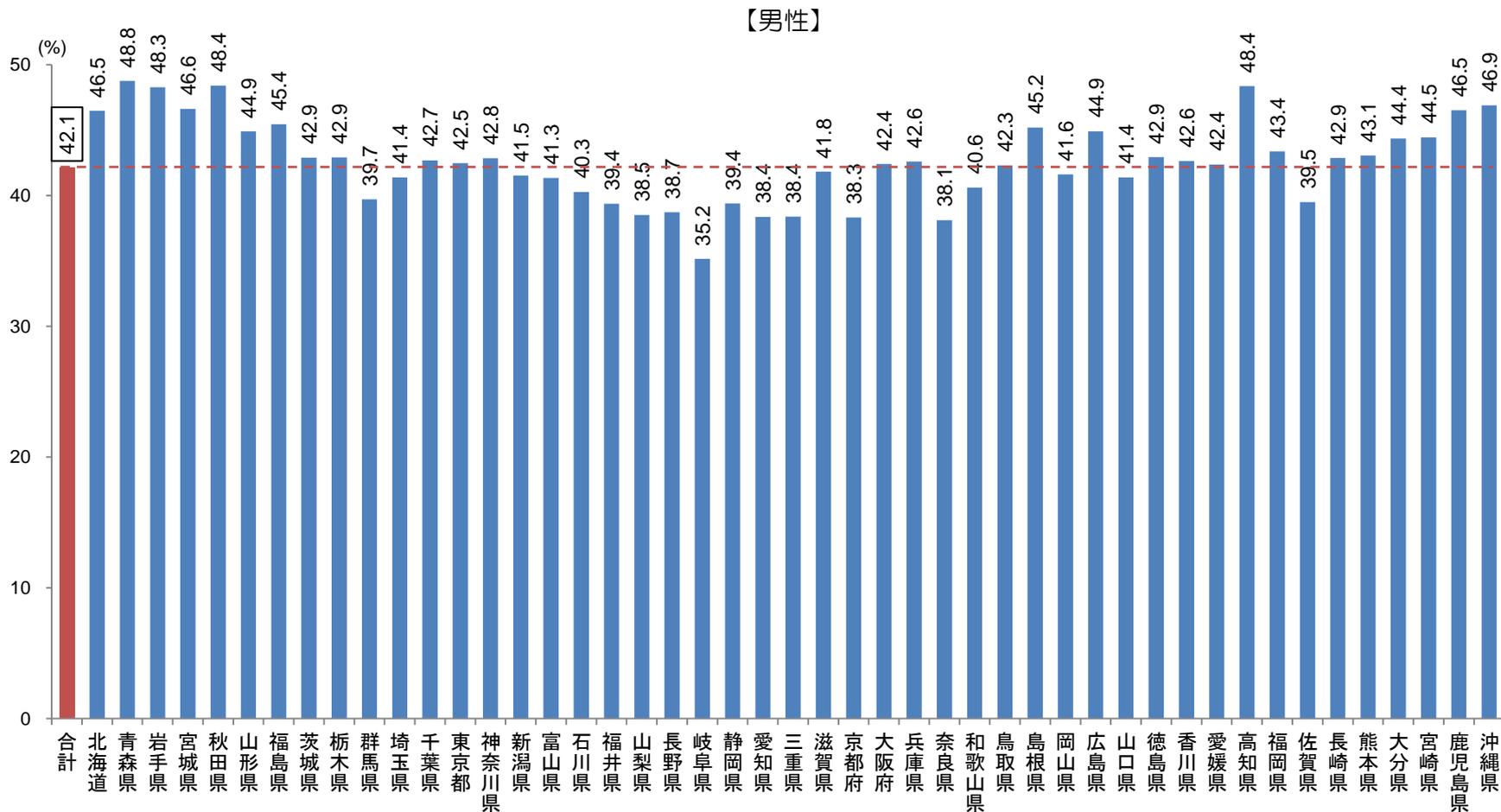
【女性】



※対象464組合（「血糖」検査受診者数：131万8,032人、うち該当者数：26万824人）

平成27年度 肝機能リスク保有者割合【男性】

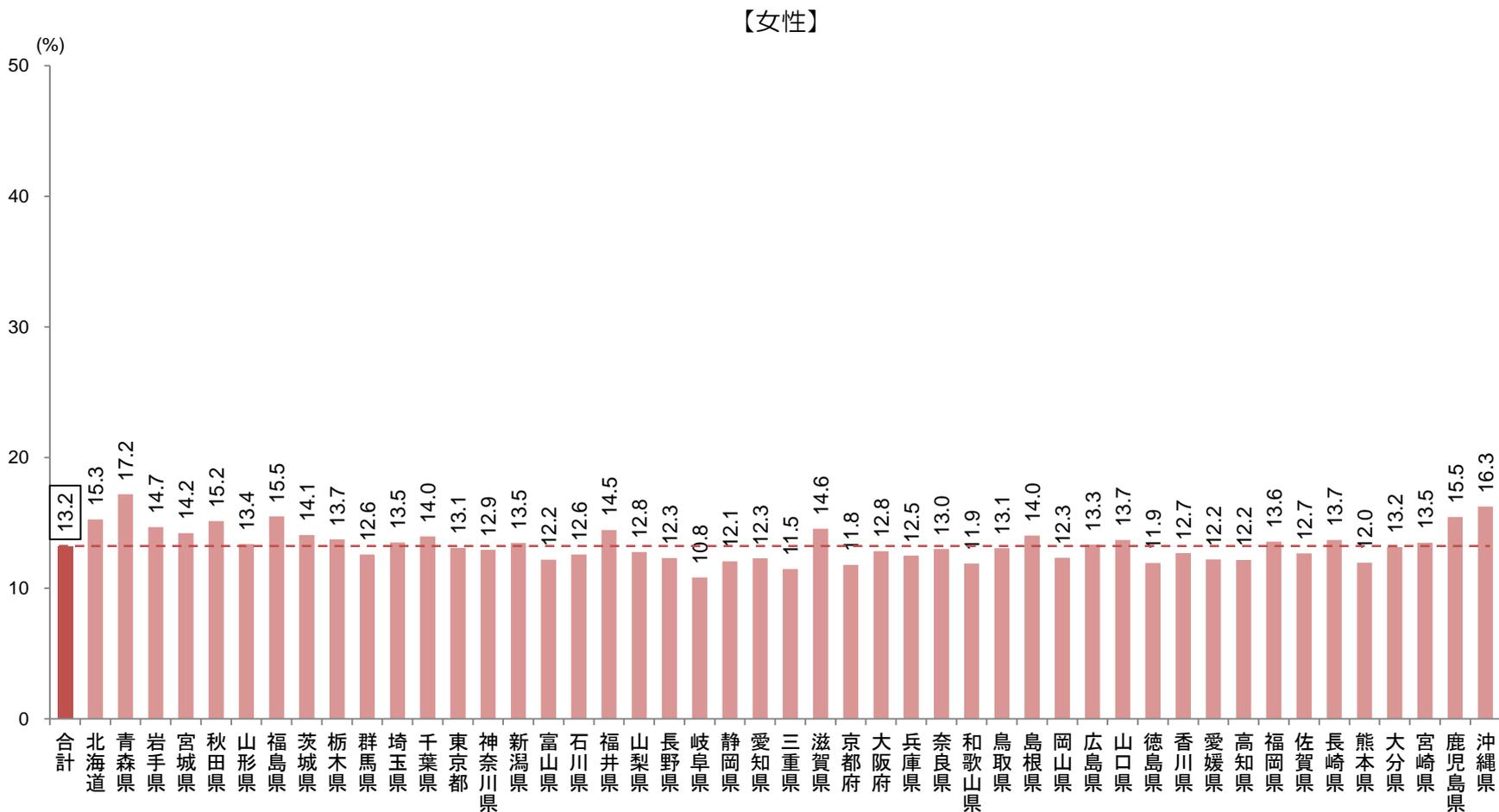
肝機能リスク保有者の割合をみると、合計：42.1%に対して、高い割合を示しているのは、①青森県：48.8%、②秋田県、高知県：48.4%、③岩手県：48.3%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①岐阜県：35.2%、②奈良県：38.1%、③京都府：38.3%となっている。



※対象464組合（「肝機能」検査受診者数：207万2,519人、うち該当者数：87万3,068人）

平成27年度 肝機能リスク保有者割合【女性】

肝機能リスク保有者の割合をみると、合計：13.2%に対して、高い割合を示しているのは、①青森県：17.2%、②沖縄県：16.3%、③福島県：15.5%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①岐阜県：10.8%、②三重県：11.5%、③京都府：11.8%となっている。



※対象464組合（「肝機能」検査受診者数：132万1,322人、うち該当者数：17万4,764人）

【3】医療受診（服薬）状況（問診回答による）

服薬の状況

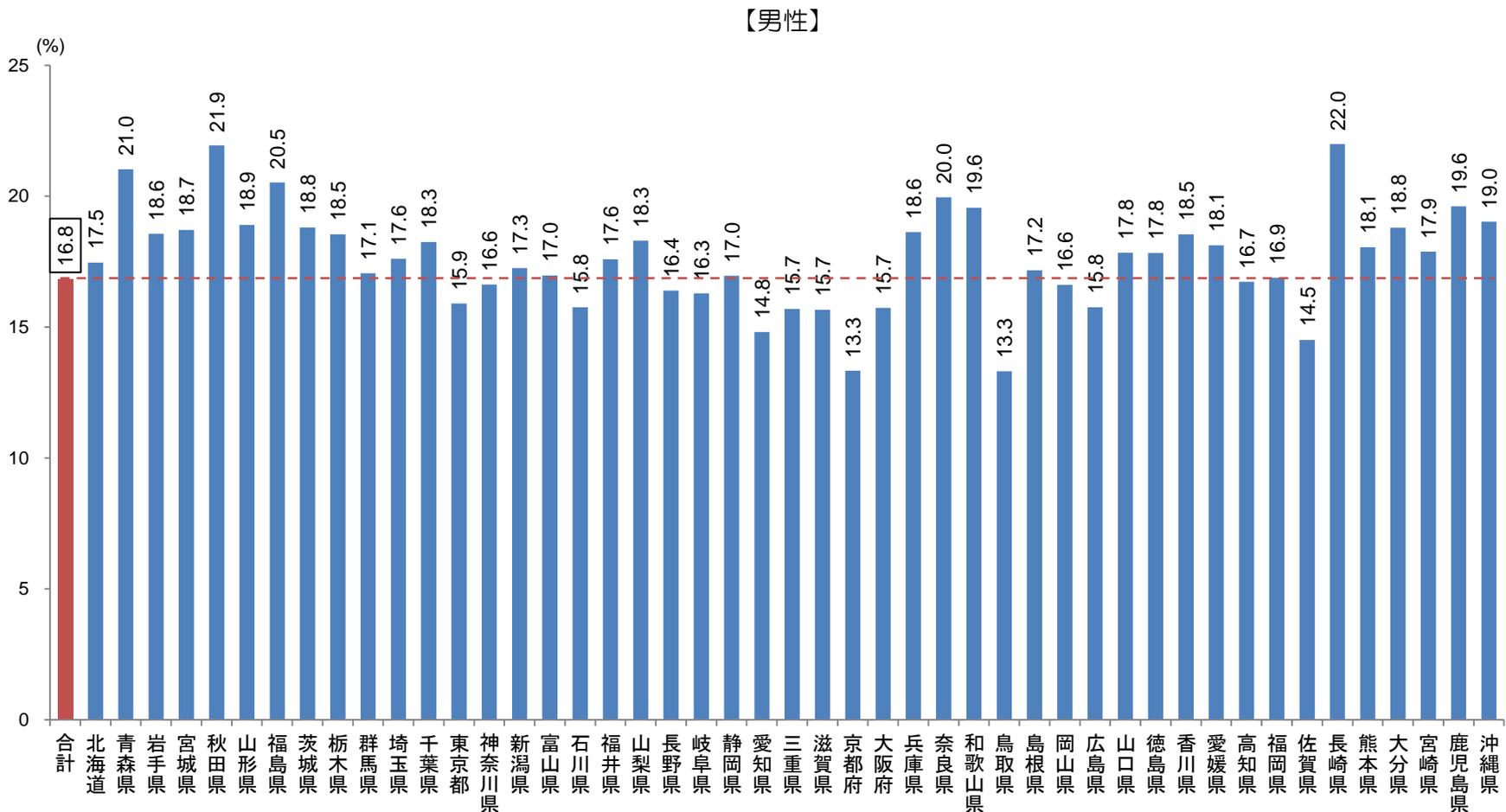
①血圧を下げる薬

②インスリン注射または血糖を下げる薬

③コレステロールを下げる薬

平成27年度 血圧を下げる薬を使用している者の割合【男性】

血圧を下げる薬を使用している者の割合をみると、合計：16.8%に対して、高い割合を示しているのは、①長崎県：22.0%、②秋田県：21.9%、③青森県：21.0%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①京都府、鳥取県：13.3%、②佐賀県：14.5%、③愛知県：14.8%となっている。



※対象464組合（問診回答者数：206万6,999人、うち該当者数：34万7,840人）

平成27年度 血圧を下げる薬を使用している者の割合【女性】

血圧を下げる薬を使用している者の割合をみると、合計：8.9%に対して、高い割合を示しているのは、①青森県：15.3%、②福島県：13.1%、③秋田県：12.7%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①高知県：6.4%、②京都府：6.7%、③愛媛県：7.1%となっている。

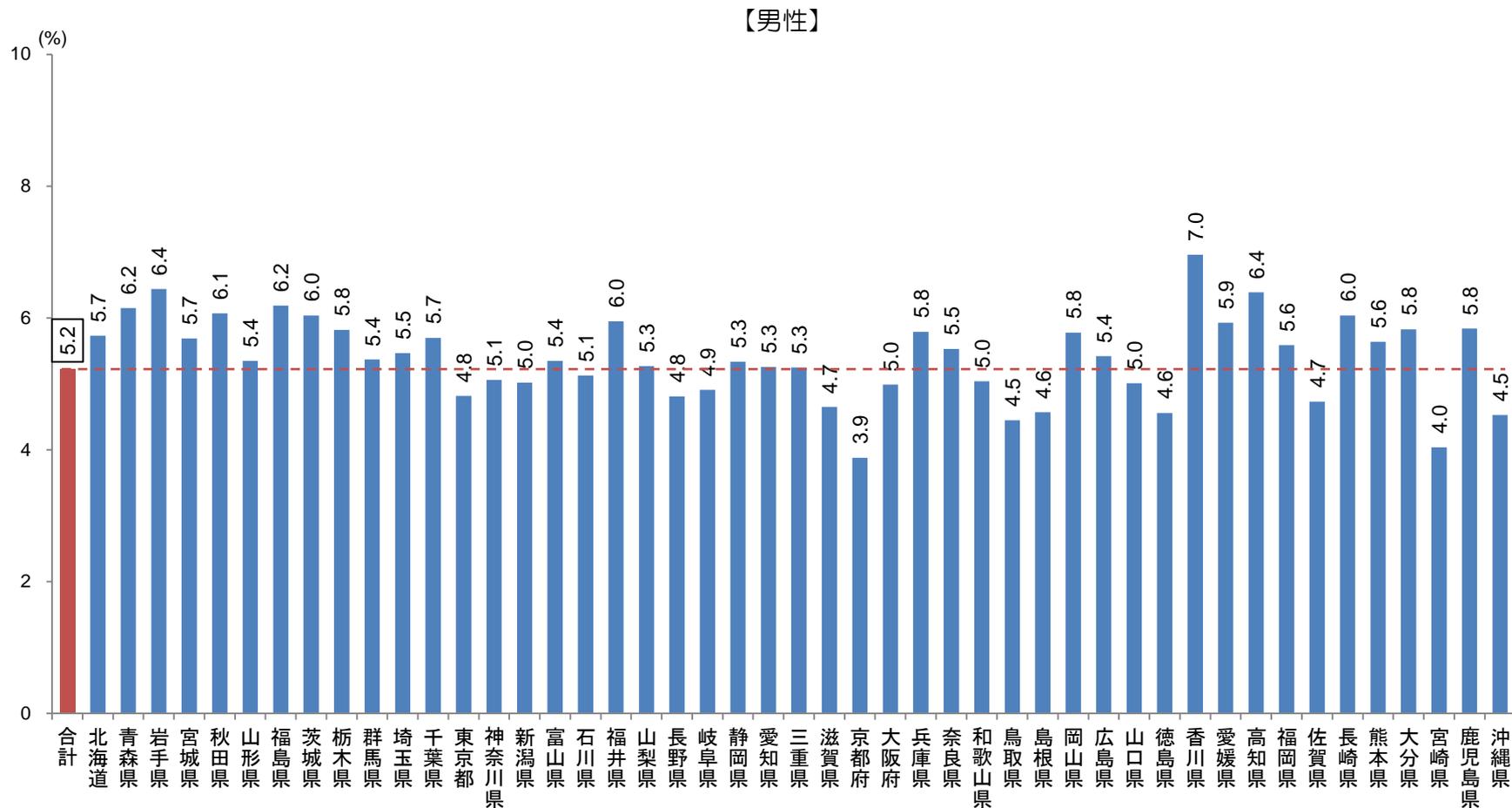
【女性】



※対象464組合（問診回答者数：131万8,967人、うち該当者数：11万6,728人）

平成27年度 インスリン注射または血糖を下げる薬を使用している者の割合【男性】

インスリン注射または血糖を下げる薬を使用している者の割合をみると、合計：5.2%に対して、高い割合を示しているのは、①香川県：7.0%、②岩手県、高知県：6.4%、③青森県、福島県：6.2%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①京都府：3.9%、②宮崎県：4.0%、③島根県、沖縄県：4.5%となっている。

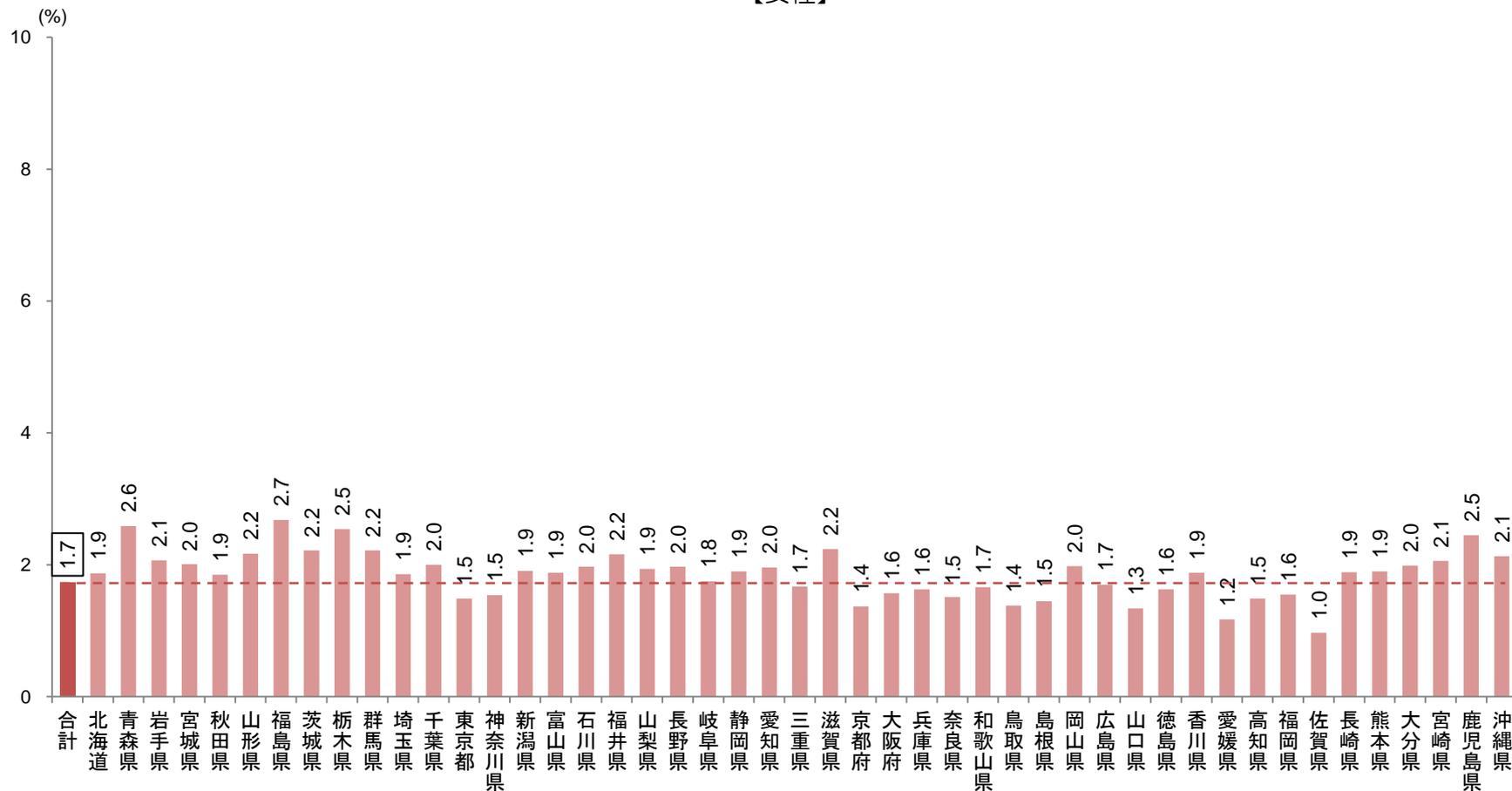


※対象464組合（問診回答者数：206万6,414人、うち該当者数：10万8,032人）

平成27年度 インスリン注射または血糖を下げる薬を使用している者の割合【女性】

インスリン注射または血糖を下げる薬を使用している者の割合をみると、合計：1.7%に対して、高い割合を示しているのは、①福島県：2.7%、②青森県：2.6%、③栃木県、鹿児島県：2.5%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①佐賀県：1.0%、②愛媛県：1.2%、③山口県：1.3%となっている。

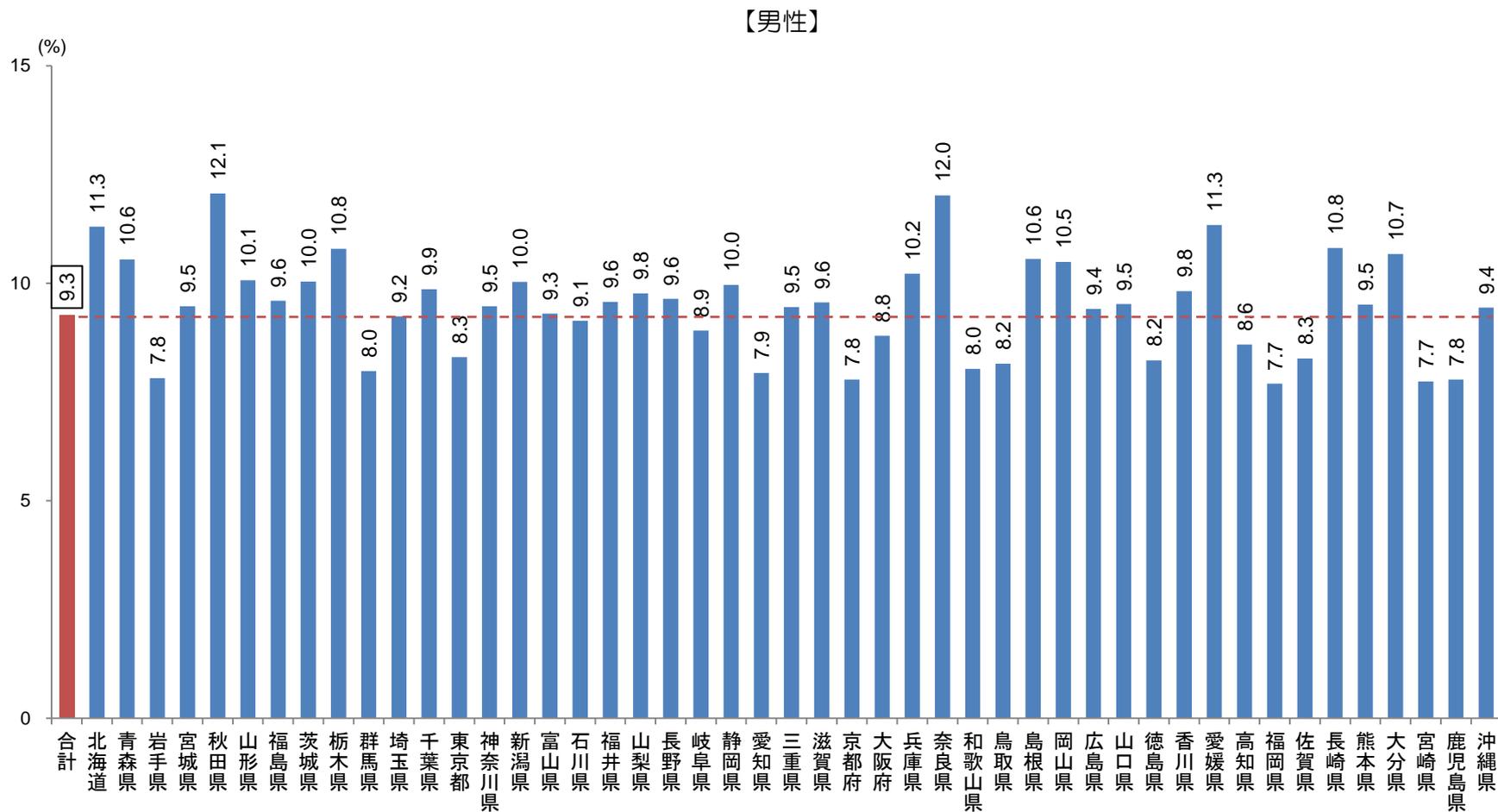
【女性】



※対象464組合（問診回答者数：131万8,881人、うち該当者数：2万2,765人）

平成27年度 コレステロールを下げる薬を使用している者の割合【男性】

コレステロールを下げる薬を使用している者の割合をみると、合計：9.3%に対して、高い割合を示しているのは、①秋田県：12.1%、②奈良県：12.0%、③北海道、愛媛県：11.3%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①福岡県、宮崎県：7.7%、②岩手県、京都府、鹿児島県：7.8%、③愛知県：7.9%となっている。

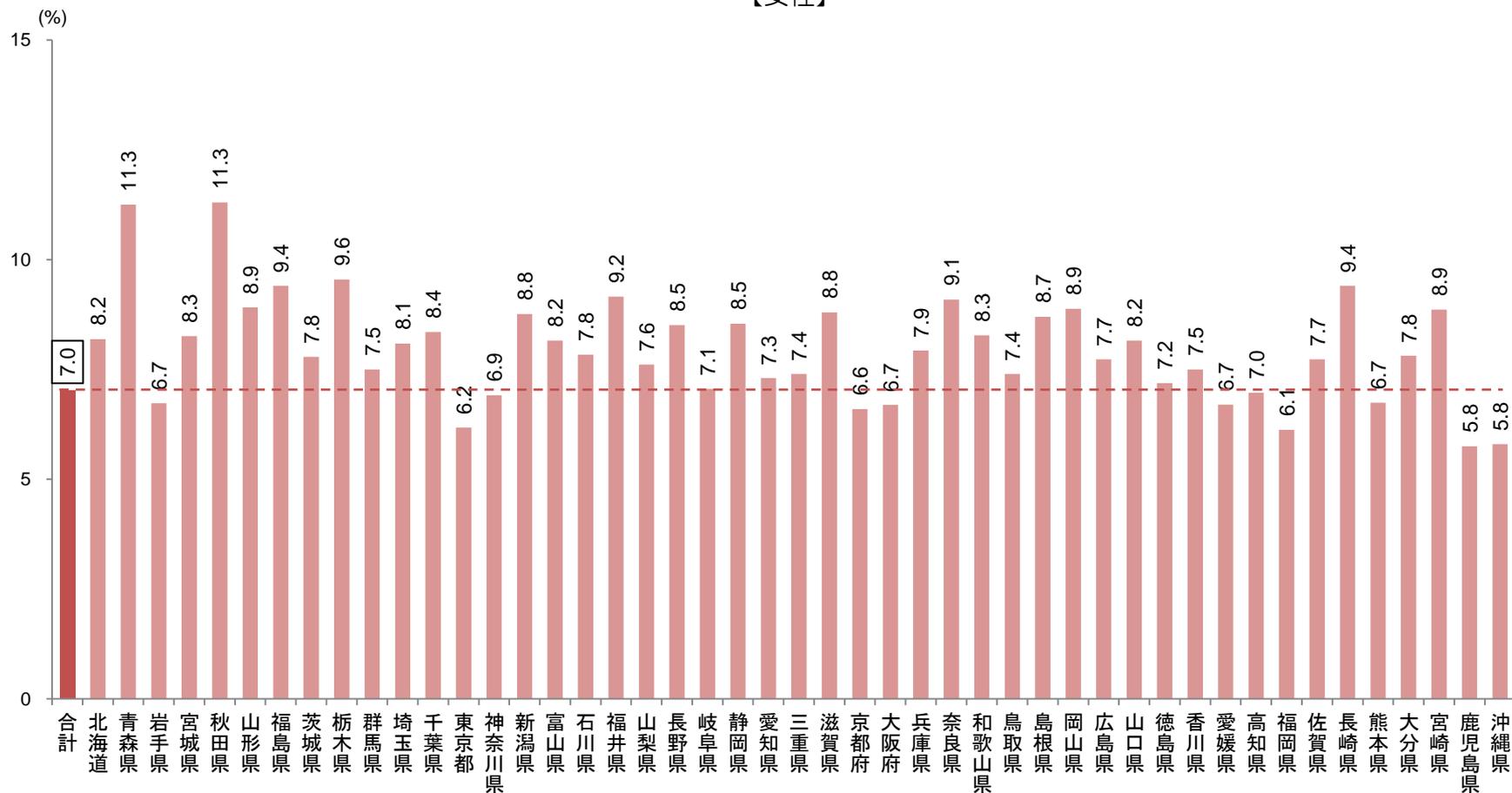


※対象464組合（問診回答者数：206万6,546人、うち該当者数：19万1,623人）

平成27年度 コレステロールを下げる薬を使用している者の割合【女性】

コレステロールを下げる薬を使用している者の割合をみると、合計：7.0%に対して、高い割合を示しているのは、①青森県、秋田県：11.3%、②栃木県：9.6%、③福島県、長崎県：9.4%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①鹿児島県、沖縄県：5.8%、②福岡県：6.1%、③東京都：6.2%となっている。

【女性】



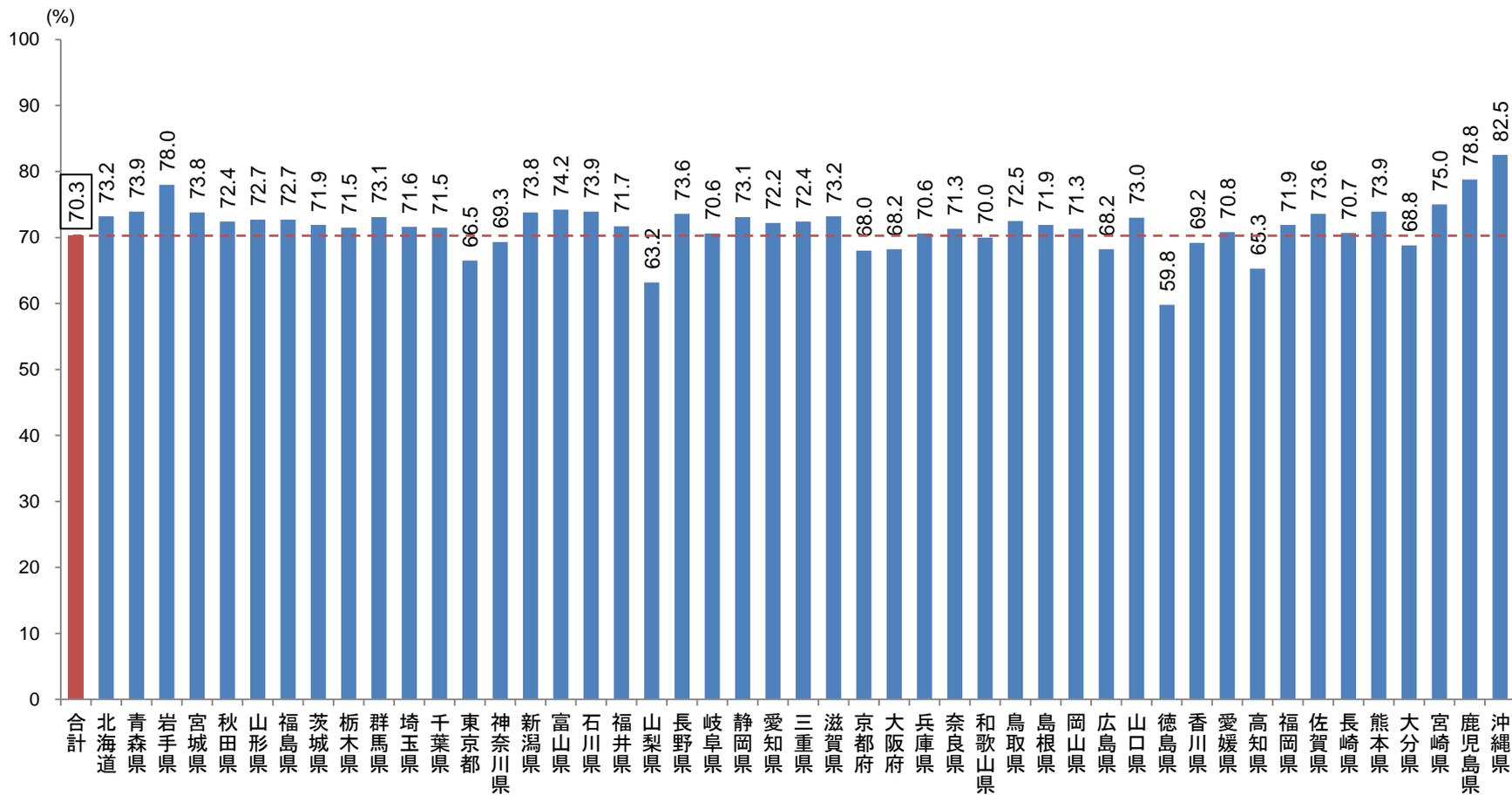
※対象464組合（問診回答者数：131万8,898人、うち該当者数：9万2,709人）

【4】後発医薬品の使用状況

後発医薬品使用割合（数量ベース）

平成29年6月診療分 後発医薬品使用割合（数量ベース²）

後発医薬品の使用割合（平成29年6月診療分）をみると、合計：70.3%に対して、高い割合を示しているのは、①沖縄県：82.5%、②鹿児島県：78.8%、③岩手県：78.0%となっている。一方、低い割合を示しているのは、①徳島県：59.8%、②山梨県：63.2%、③高知県：65.3%となっている。



※対象1,312組合（調剤レセプト件数：911万9,407件）

² 後発医薬品使用割合 = [後発医薬品の数量] / ([後発医薬品のある先発医薬品の数量] + [後発医薬品の数量])

【参考①】

調査対象とした特定健診データ（平成27年度）		
組合数	区分	人数
464組合	合計	3,395,199人
	男性	2,073,463人
	女性	1,321,736人

調査に使用した問診項目	
現在、たばこを習慣的に吸っている	①はい ②いいえ
20歳の時の体重から10kg以上増加している	①はい ②いいえ
1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している	①はい ②いいえ
日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している	①はい ②いいえ
就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある	①はい ②いいえ
夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上ある	①はい ②いいえ
朝食を抜くことが週に3回以上ある	①はい ②いいえ
お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度	①毎日 ②時々 ③ほとんど飲まない（飲めない）
飲酒日の1日当たりの飲酒量	①1合未満 ②1～2合未満 ③2～3合未満 ④3合以上
血圧を下げる薬の使用の有無	①はい ②いいえ
インスリン注射または血糖を下げる薬の使用の有無	①はい ②いいえ
コレステロールを下げる薬の使用の有無	①はい ②いいえ

【参考②】

メタボリックシンドローム該当者・予備群の判定基準		
	腹囲	追加リスク※ ①血圧 ②脂質 ③血糖
メタボリックシンドローム該当者	男性 \geq 85cm 女性 \geq 90cm	2つ以上該当
メタボリックシンドローム予備群		1つ該当

※追加リスク	
①血圧	収縮期血圧 \geq 130mmHgかつ・または拡張期血圧 \geq 85mmHg
②脂質	中性脂肪 \geq 150mg/dLかつ・またはHDL $<$ 40mg/dL
③血糖	空腹時血糖 \geq 110mg/dL
厚生労働省「平成26年度特定健診・特定保健指導実施状況」p.10を基に作成。	

【参考③】

健診検査値リスク保有者（保健指導基準値以上の者）の判定基準	
肥満	内臓脂肪面積 $\geq 100\text{cm}^2$ またはBMI $\geq 25\text{kg/m}^2$ ※内臓脂肪面積の検査値がないとき 腹囲 男性 $\geq 85\text{cm}$ 、女性 $\geq 90\text{cm}$ またはBMI $\geq 25\text{kg/m}^2$
血圧	収縮期血圧 $\geq 130\text{mmHg}$ または拡張期血圧 $\geq 85\text{mmHg}$
脂質	中性脂肪 $\geq 150\text{mg/dL}$ またはHDL $< 40\text{mg/dL}$ またはLDL $\geq 120\text{mg/dL}$
血糖	空腹時血糖 $\geq 100\text{mg/dL}$ ※空腹時血糖がないときHbA1c $\geq 5.6\%$
肝機能	AST $\geq 31\text{U/L}$ またはALT $\geq 31\text{U/L}$ または $\gamma\text{-GT}$ $\geq 51\text{U/L}$

厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」・「第2編：健診」p.58を基に作成。

調査対象とした調剤報酬明細書データ		
組合数	診療年月	件数
1,312組合	平成29年6月	9,119,407件